

**長野県民の結婚・出産・子育て
に関する意識調査**

報告書

令和3年9月

長野県将来世代応援県民会議

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査設計.....	1
(3) 回答者基本属性.....	1
(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 婚姻状況.....	2
(2) 独身者の結婚に対する意識.....	3
(3) 既婚者の結婚生活の状況.....	20
(4) 働き方に関する現状.....	21
(5) 出産や子育てに関する意識と現状.....	23
附属資料（調査票）.....	52

＜報告書の見方＞

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0 の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報		
比率の差の検定 対 TOTAL 行と比較した結果を数表に表示 ※経年比較の場合は、対令和3年度調査(今回調査)と比較		有意水準 5%で高い
		有意水準 5%で低い

- 女性18～34歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる間である。「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{希望出生率} &= (\text{女性18～34歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\
 &+ \text{女性18～34歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\
 &\times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\
 &\times \text{離死別等の影響}
 \end{aligned}$$

1. 調査概要

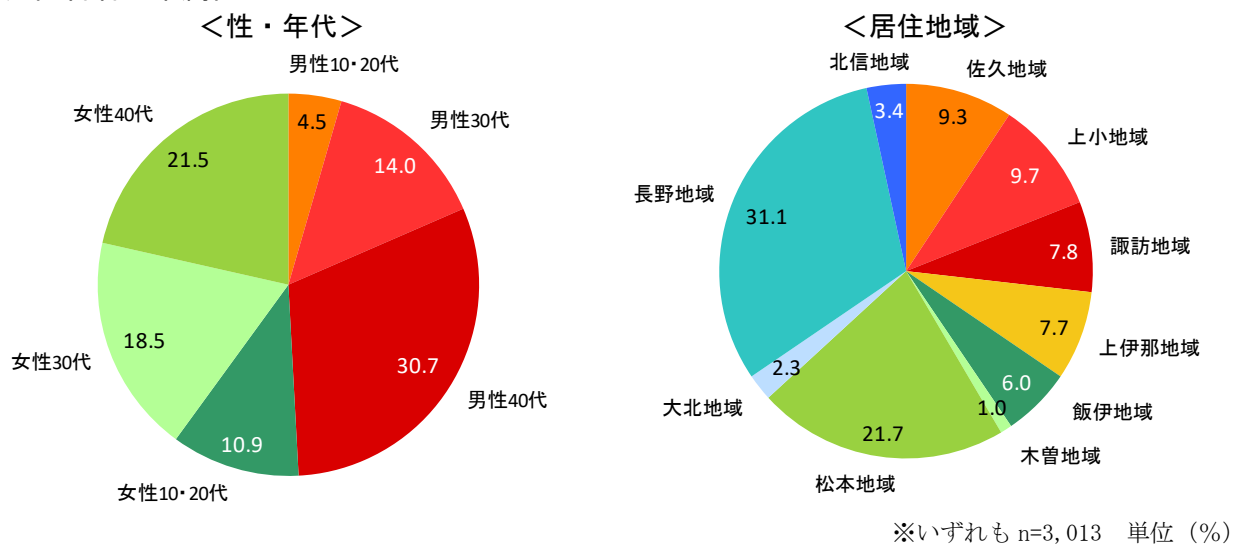
(1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合5か年計画）」、「長野県子ども・若者支援総合計画」等の評価指標の検証に活用する。

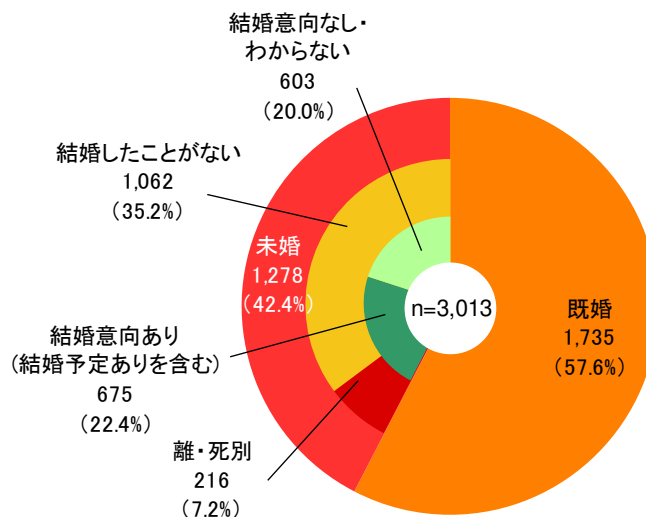
(2) 調査設計

調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニター（マイティモニター）より抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,013
調査実施時期	令和3年7月2日～令和3年7月5日

(3) 回答者基本属性



(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態



2. 調査結果

(1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

既婚者の割合は57.6%、独身者の割合は42.4%である。

性・年代別にみると、いずれの年代でも女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。

■ 現在、結婚(事実婚を含む)している ■ 結婚していたが、現在は離・死別した ■ 結婚したことはない

		n=	(%)		
	TOTAL	3013	57.6	7.2	35.2
* 性別 × 年代	■ 男性 計	1481	56.9	6.1	37.1
	10・20代	135	20.7	2.2	77.0
	30代	421	56.8	2.4	40.9
	40代	925	62.2	8.3	29.5
	■ 女性 計	1532	58.3	8.2	33.5
	10・20代	327	33.9	3.7	62.4
	30代	556	62.9	7.0	30.0
	40代	649	66.6	11.6	21.9

(2) 独身者の結婚に対する意識

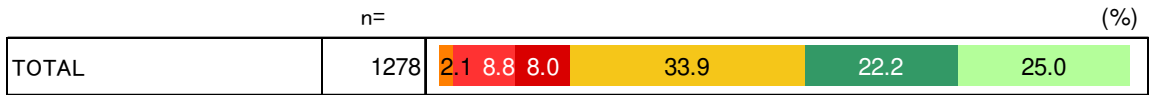
問5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)
【回答者：独身者】

独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が33.9%、「2・3年以内に結婚したい」が8.0%である。「すでに結婚する予定がある」(2.1%)、「すぐにでも結婚したい」(8.8%)と合わせると、5割強(52.8%)は結婚意向があると回答している。

「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向があると回答した人の割合は70.4%となり、性・年代別にみると、女性10・20代の結婚意向があると回答した人の割合が最も高く(88.2%)、女性40代の結婚意向があると回答した人の割合が最も低い(47.7%)。

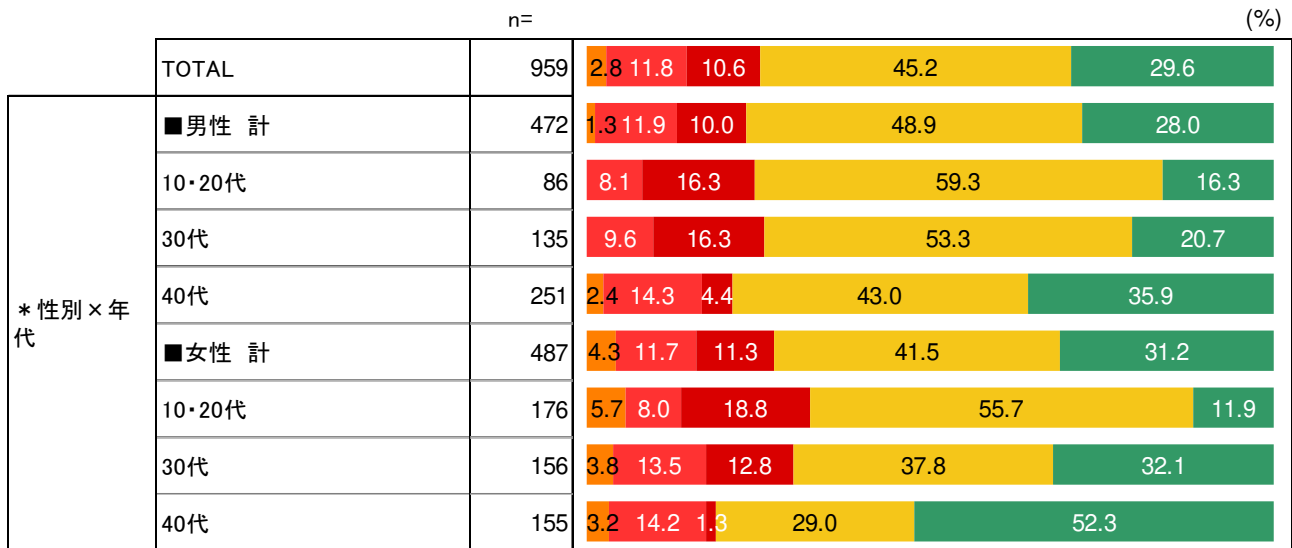
また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向があると回答した人の割合は83.9%であった。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない



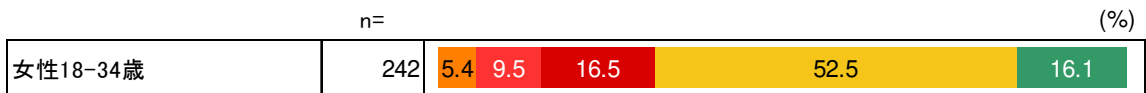
<「わからない」の回答を除いた場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



<女性18-34歳の場合> (希望出生率の算出根拠)

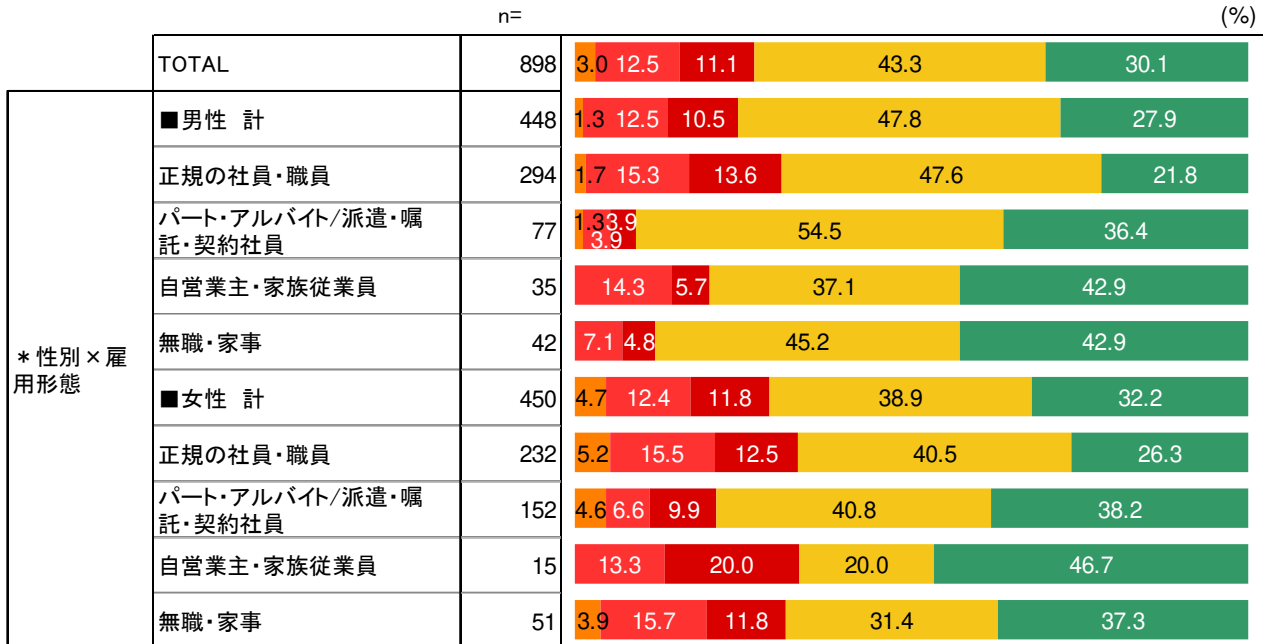
- すでに結婚する予定がある
- すぐにでも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



性・雇用形態別にみると、正規の社員・職員では結婚意向が高く、男性は78.2%、女性は73.7%となっている。

10代～30代の場合、「結婚するつもりはない」は、女性の無職・家事で38.9%と高くなっている。

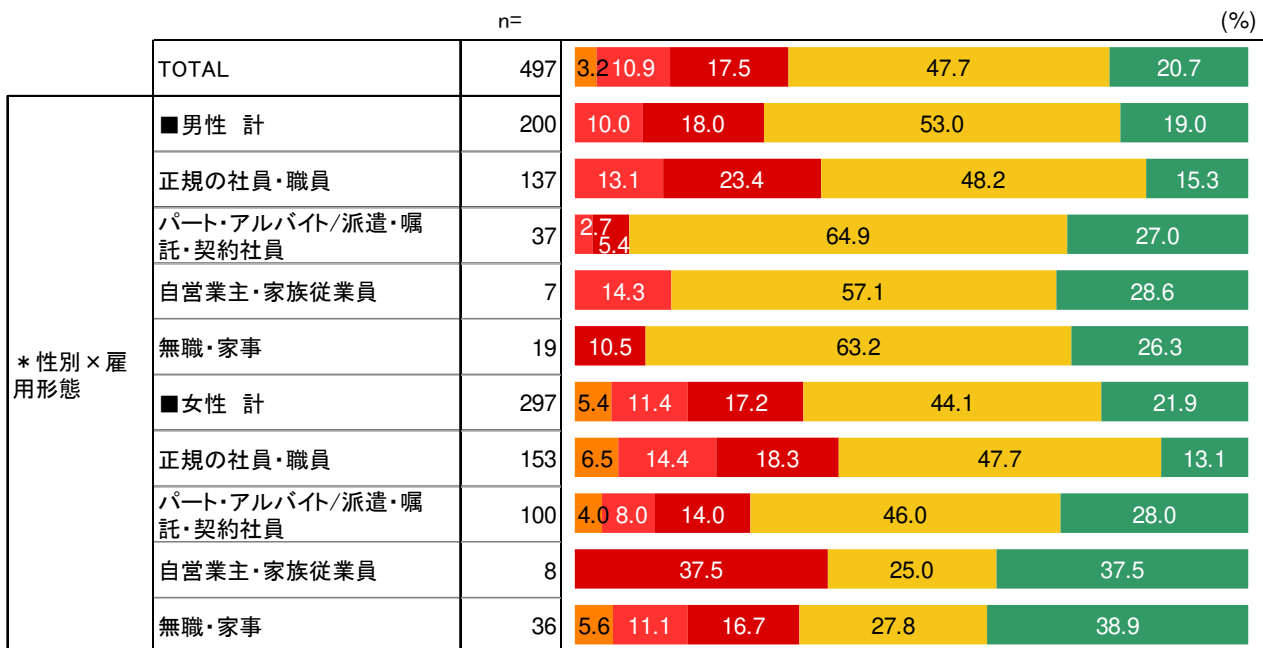
- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



※「学生52人」「その他9人」を除いて計算している。

<10代～30代の場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

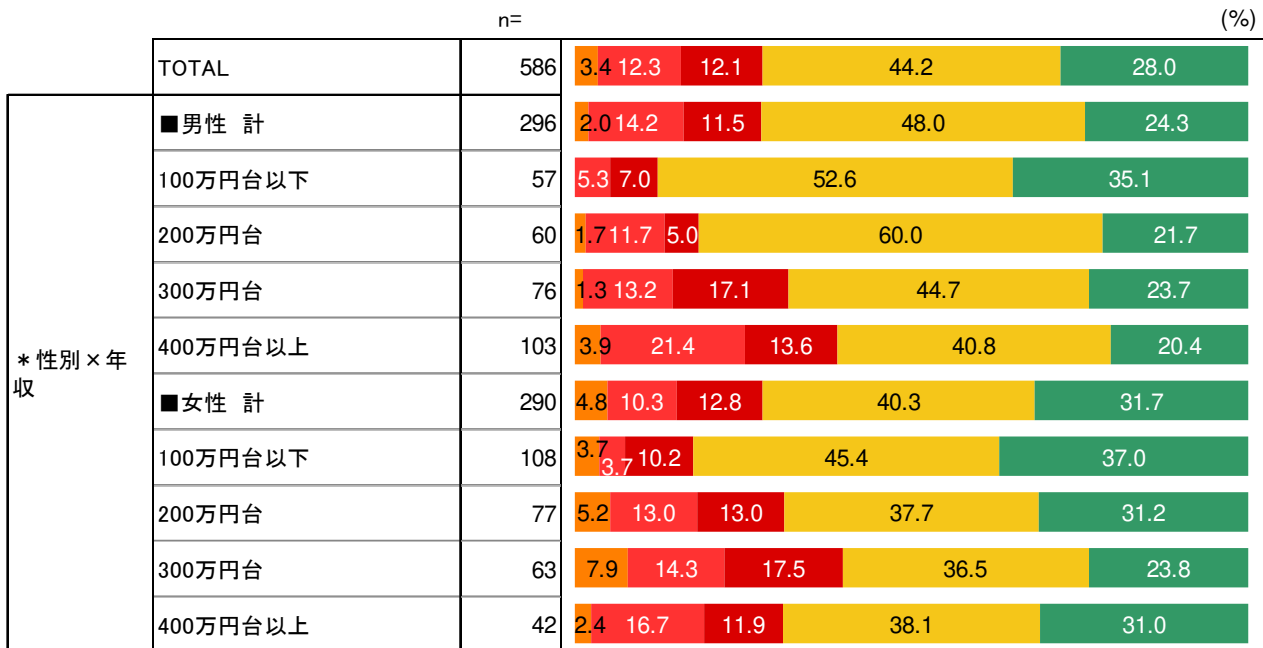


※「学生51人」「その他5人」を除いて計算している。

性・年収別にみると、「結婚するつもりはない」の割合は、年収 100 万円台以下で高く、男性は 35.1%、女性は 37.0%となっている。

10 代～30 代の場合、男性 200 万円台では、結婚意向がある人は約 9 割となっている。一方、男性女性ともに 100 万円台以下では、「結婚するつもりはない」が約 3 割である。

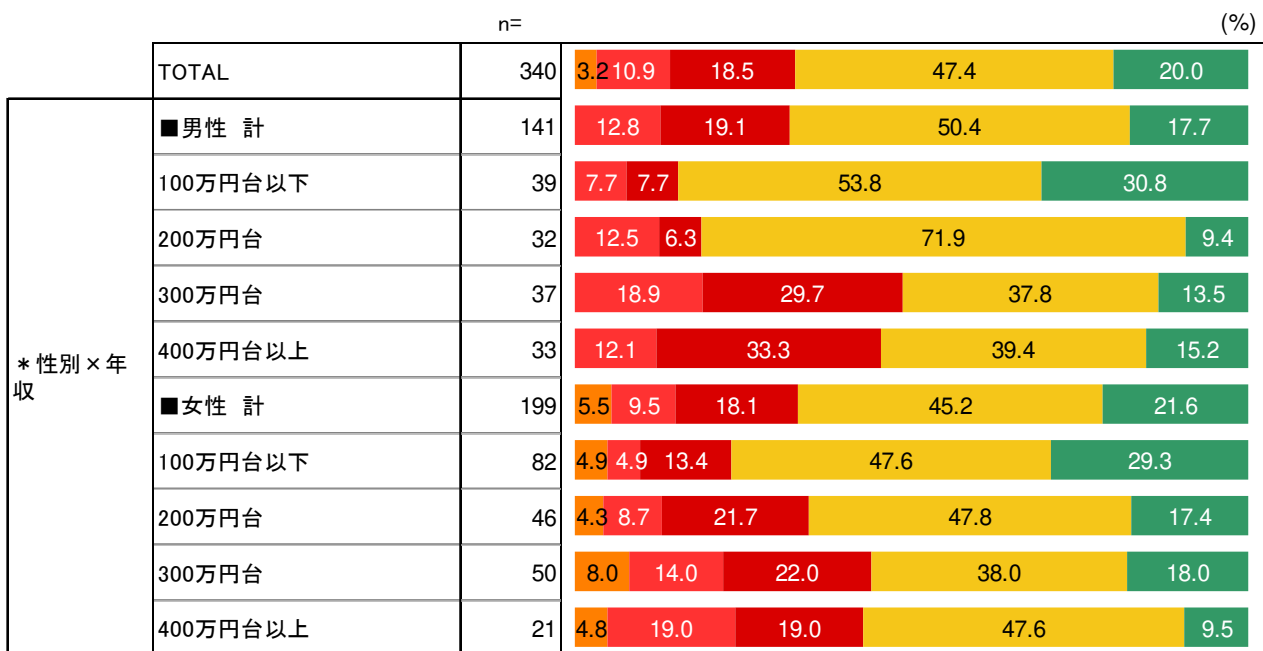
- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



※ 「学生 52 人」「その他 9 人」「無職・家事 93 人」、年収が「分からない・答えたくない 255 人」を除いて計算している。

<10 代～30 代の場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



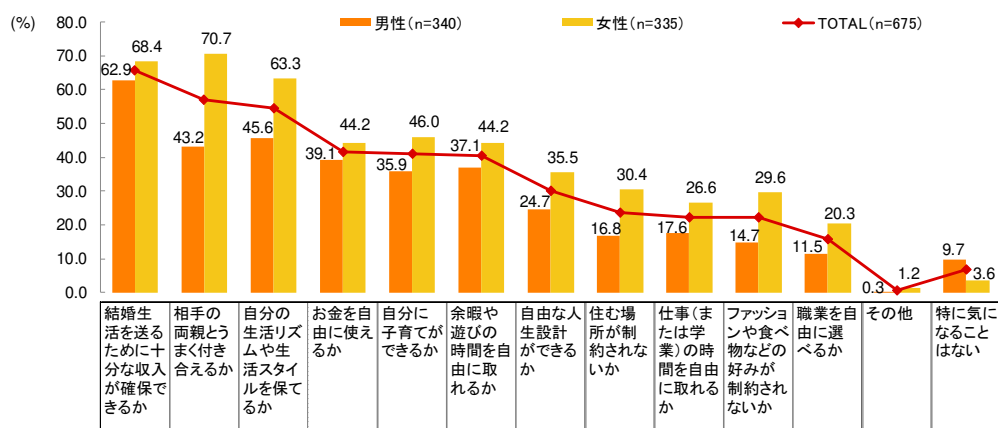
※ 「学生 51 人」「その他 5 人」「無職・家事 55 人」、年収が「分からない・答えたくない 122 人」を除いて計算している。

問6 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。
 (回答はいくつでも) 【回答者: 結婚予定・意向がある者】

結婚を考えたときに気になることとしては、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」(65.6%)が最も高い。次いで、「相手の両親とうまく付き合えるか」(56.9%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(54.4%)と続く。

性・年代別にみると、女性のほうが結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「相手の両親とうまく付き合えるか」(70.7%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(63.3%)、「自由な人生設計ができるか」(35.5%)、「住む場所が制約されないか」(30.4%)、「ファッションや食べ物などの好み制約されないか」(29.6%)といった項目の割合が高いことから、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。

また、女性10・20代では「自分に子育てができるか」(57.4%)が高くなっており、ほかの年代よりも結婚と出産・育児を結び付けて考えているとみられる。

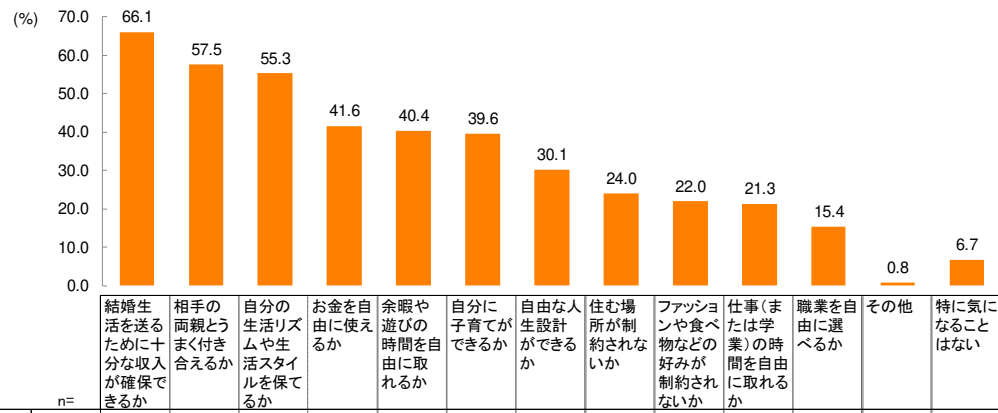


		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	お金を自由に使えるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	住む場所が制約されないか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好み制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		675	65.6	56.9	54.4	41.6	40.9	40.6	30.1	23.6	22.1	22.1	15.9	0.7	6.7
*性別×年代	■男性計	340	62.9	43.2	45.6	39.1	35.9	37.1	24.7	16.8	17.6	14.7	11.5	0.3	9.7
	10・20代	72	61.1	40.3	43.1	38.9	38.9	43.1	27.8	19.4	20.8	13.9	19.4	0.0	9.7
	30代	107	60.7	43.9	46.7	44.9	33.6	38.3	30.8	17.8	15.9	17.8	12.1	0.0	10.3
	40代	161	65.2	44.1	46.0	35.4	36.0	33.5	19.3	14.9	17.4	13.0	7.5	0.6	9.3
	■女性計	335	68.4	70.7	63.3	44.2	46.0	44.2	35.5	30.4	26.6	29.6	20.3	1.2	3.6
	10・20代	155	67.7	67.1	52.3	45.8	57.4	45.8	32.9	25.8	26.5	24.5	22.6	1.9	4.5
	30代	106	69.8	73.6	74.5	38.7	46.2	41.5	37.7	32.1	25.5	36.8	20.8	0.0	1.9
	40代	74	67.6	74.3	70.3	48.6	21.6	44.6	37.8	37.8	28.4	29.7	14.9	1.4	4.1

※グラフはTOTALの順でソート

※「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」は新規項目

性・雇用形態別にみると、女性の「正規の社員・職員」では、「相手の両親とうまく付き合えるか」(70.8%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(67.8%)が高くなっている。



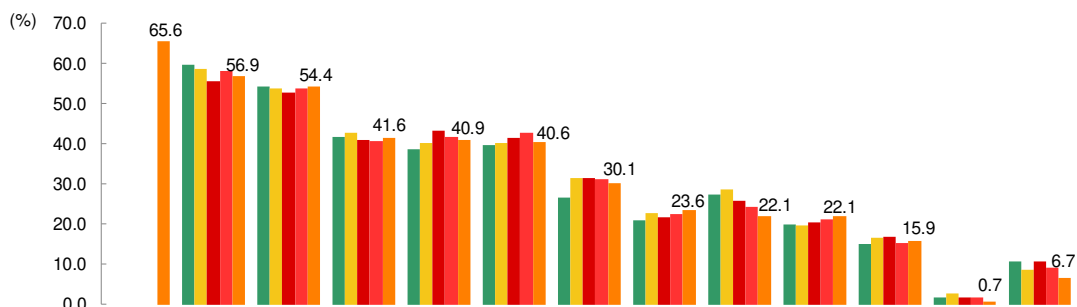
		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	お金を自由に使えるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自分に子育てができるか	自由な学生設計ができるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物の好みなどが制約されないか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		628	66.1	57.5	55.3	41.6	40.4	39.6	30.1	24.0	22.0	21.3	15.4	0.8	6.7
* 性別 × 雇用形態	■ 男性 計	323	63.5	44.0	46.1	39.6	37.5	35.9	25.1	17.0	14.9	17.0	11.8	0.3	9.6
	正規の社員・職員	230	59.1	39.6	43.5	39.6	34.3	32.2	20.9	14.3	11.3	14.8	9.6	0.0	9.6
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	49	79.6	57.1	42.9	36.7	42.9	53.1	28.6	20.4	16.3	18.4	20.4	2.0	4.1
	自営業主・家族従業員	20	75.0	65.0	80.0	55.0	60.0	50.0	55.0	45.0	40.0	40.0	5.0	0.0	5.0
	無職・家事	24	62.5	41.7	50.0	33.3	37.5	25.0	33.3	12.5	25.0	16.7	20.8	0.0	25.0
	■ 女性 計	305	68.9	71.8	64.9	43.6	43.6	43.6	35.4	31.5	29.5	25.9	19.3	1.3	3.6
	正規の社員・職員	171	68.4	70.8	67.8	43.9	40.9	43.9	36.3	33.3	27.5	28.1	19.3	1.8	4.7
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	94	67.0	74.5	60.6	47.9	43.6	42.6	31.9	26.6	35.1	26.6	19.1	1.1	3.2
	自営業主・家族従業員	8	50.0	62.5	87.5	37.5	50.0	25.0	50.0	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	無職・家事	32	81.3	71.9	56.3	31.3	56.3	50.0	37.5	34.4	28.1	18.8	21.9	0.0	0.0

※なお、「学生 44 人」「その他 3 人」を除いて計算している。

※「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」は新規項目

平成29～令和3年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、今回新規追加した「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」を除く上位5項目には大きな変化はなかった。

■平成29年度調査(n=710) ■平成30年度調査(n=699) ■令和元年度調査(n=637) ■令和2年度調査(n=581) ■令和3年度調査(今回調査)(n=675)



n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	お金を自由に使えるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自由な人生設計ができるか	住む場所が制約されないか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好みが制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない	
令和3年度調査(今回調査)	675	65.6	56.9	54.4	41.6	40.9	40.6	30.1	23.6	22.1	22.1	15.9	0.7	6.7
令和2年度調査	581	—	58.2	53.9	40.8	41.7	42.7	31.2	22.4	24.3	21.3	15.3	1.7	9.1
令和元年度調査	637	—	55.6	52.7	41.1	43.2	41.6	31.6	21.7	25.9	20.6	17.0	1.7	10.7
平成30年度調査	699	—	58.8	53.8	42.9	40.3	40.1	31.6	22.7	28.6	19.6	16.5	2.7	8.7
平成29年度調査	710	—	59.6	54.4	41.7	38.6	39.7	26.6	21.1	27.5	19.9	15.2	1.8	10.7

※グラフは今回調査の順でソート

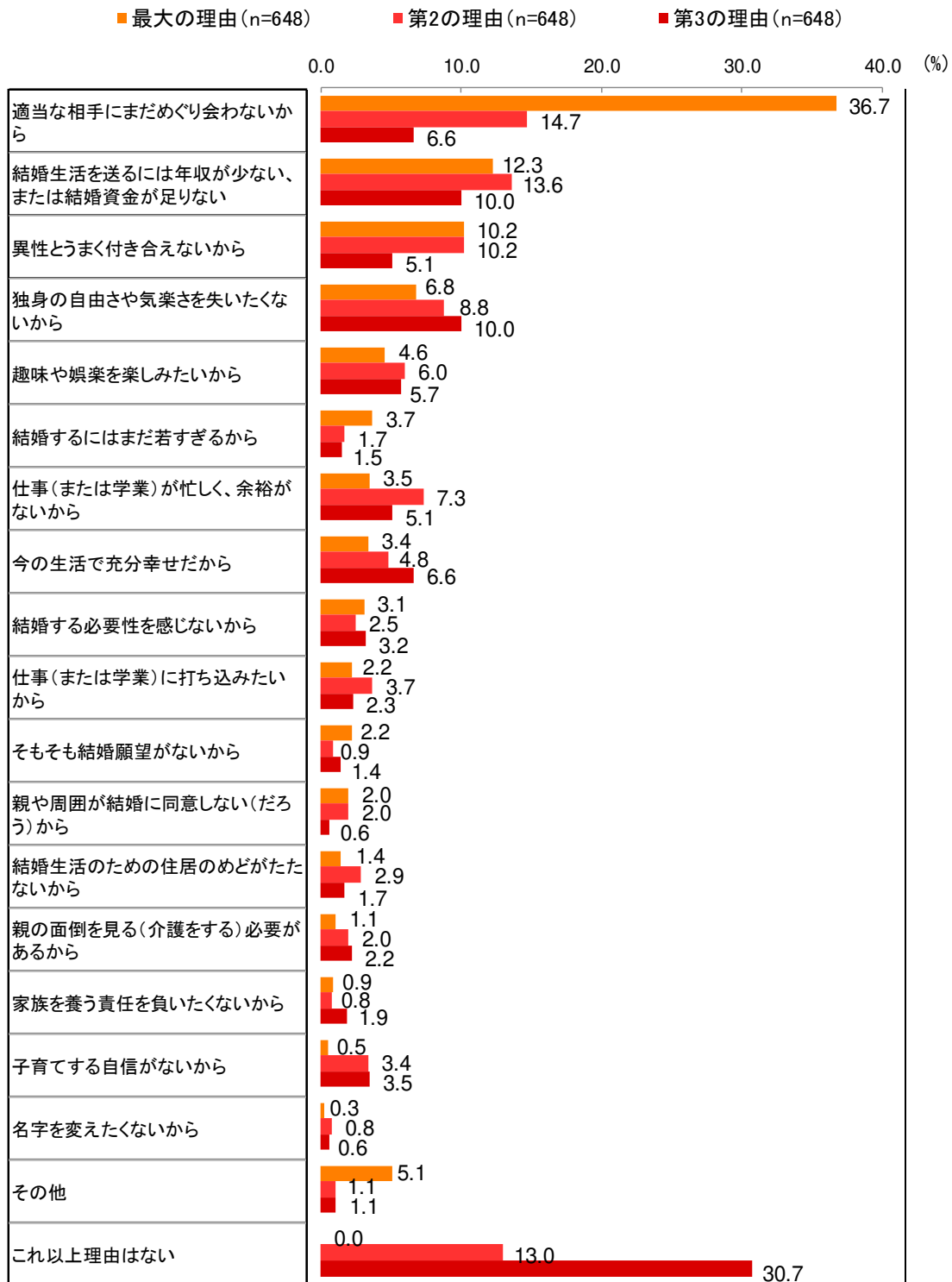
※「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」は新規項目

問7 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

【回答者：結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）、結婚意向がない者】

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」（36.7%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（12.3%）、「異性とうまく付き合えないから」（10.2%）と続く。

＜結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の場合＞

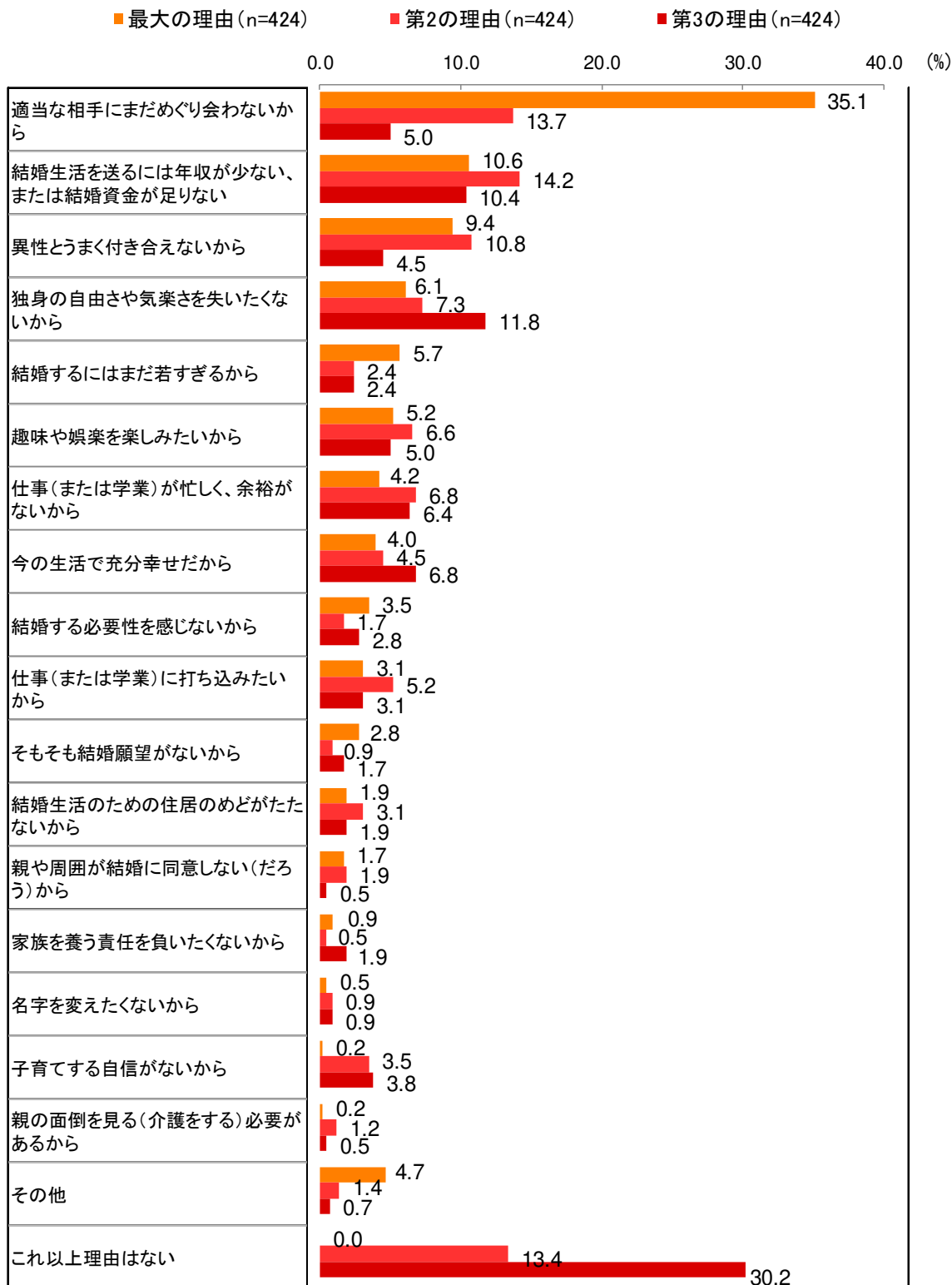


※グラフは「最大の理由」の順でソート

※「そもそも結婚願望がないから」、「今の生活で充分幸せだから」、「家族を養う責任を負いたくないから」は新規項目

結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合、現在独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだめぐり合わないから」（35.1%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（10.6%）、「異性とうまく付き合えないから」（9.4%）と続いており、全年代と同様の傾向がみられる。

<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合>

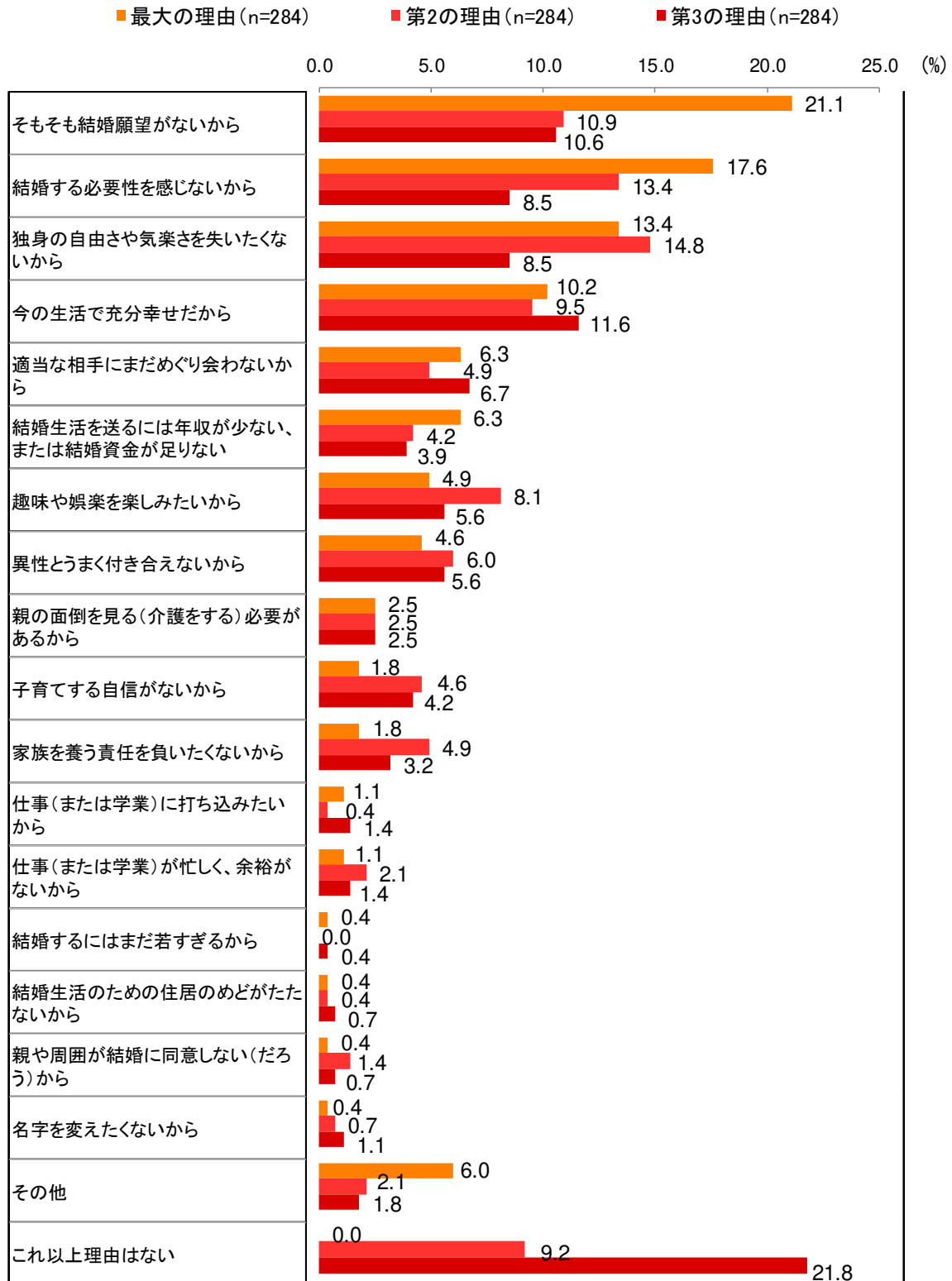


※グラフは「最大の理由」の順でソート

※「そもそも結婚願望がないから」、「今の生活で充分幸せだから」、「家族を養う責任を負いたくないから」は新規項目

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「そもそも結婚願望がないから」(21.1%)、「結婚する必要性を感じないから」(17.6%)が高い。また、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(13.4%)、「今の生活で充分幸せだから」(10.2%)といった項目も高く、現在のライフスタイルを維持したい意向もうかがえる。

<結婚意向がない者の場合>

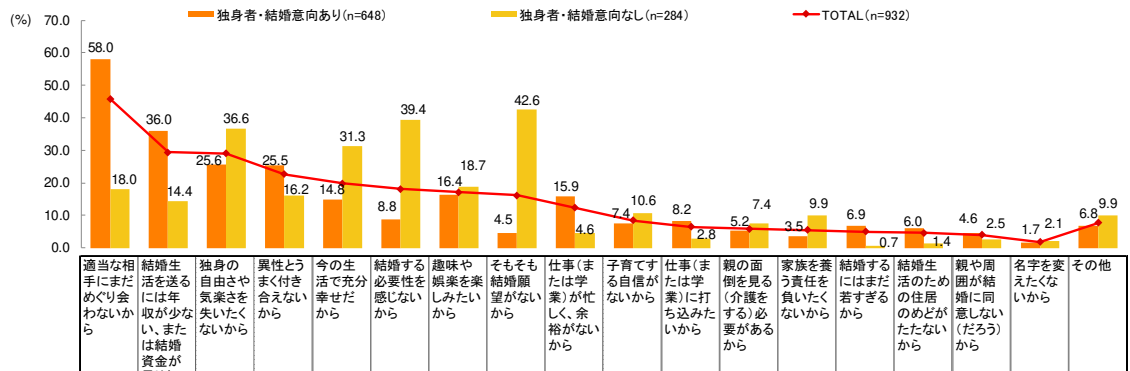


※グラフは「最大の理由」の順でソート

※「そもそも結婚願望がないから」、「今の生活で充分幸せだから」、「家族を養う責任を負いたくないから」は新規項目

結婚意向と性・年代別にみると、「結婚意向あり」では、「適当な相手にまだめぐり合わないから」(58.0%)が高くなっている。「結婚意向あり」の男性では、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(45.8%)が高くなっている。また、「結婚意向あり」の女性10・20代では、「仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから」(22.1%)、「仕事(または学業)に打ち込みたいから」(18.6%)が高くなっている。「結婚意向なし」の女性30代、40代では、「今の生活で充分幸せだから」(30代:38.0%、40代:43.2%)が高い。

＜最大の理由、第2の理由、第3の理由を合算した場合＞



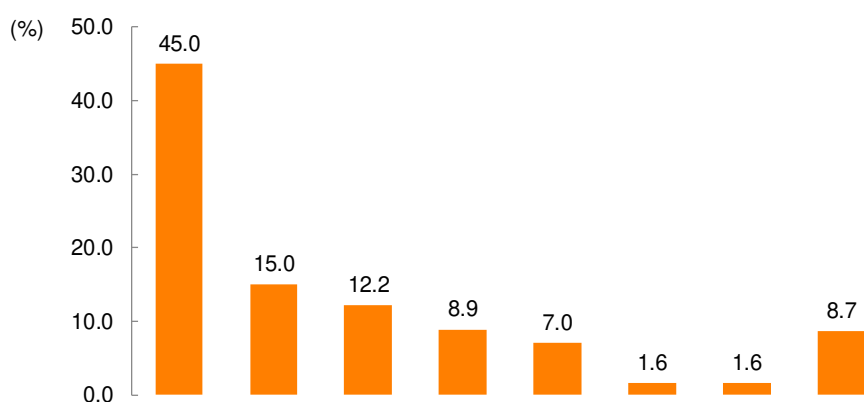
	n=	適当な相手にまだめぐり合わないから	結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない	自身の自由さや気楽さを失いたくないから	異性とうまく付き合えないから	今の生活で充分幸せだから	結婚する必要性を感じないから	趣味や娯楽を楽しみたいから	そもそも結婚願望がないから	仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから	子育てする自信がないから	仕事(または学業)に打ち込みたいから	親の面倒を見る(介護をする)必要があるから	家族を養う責任を負いたくないから	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚生活のため住居のめたないから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	名前を変えたくないから	その他
TOTAL	932	45.8	29.4	29.0	22.6	19.8	18.1	17.1	16.1	12.4	8.4	6.5	5.9	5.5	5.0	4.6	4.0	1.8	7.7
独身者・結婚意向あり	648	58.0	36.0	25.6	25.5	14.8	8.8	16.4	4.5	15.9	7.4	8.2	5.2	3.5	6.9	6.0	4.6	1.7	6.8
■男性計	334	57.8	45.8	22.2	28.7	11.7	7.8	16.2	3.9	15.6	7.5	6.0	5.7	6.0	5.1	6.3	3.6	0.0	5.1
10・20代	72	47.2	48.6	22.2	25.0	11.1	5.6	19.4	8.3	16.7	4.2	12.5	1.4	4.2	20.8	5.6	4.2	0.0	5.6
30代	107	55.1	46.7	24.3	31.8	11.2	8.4	16.8	2.8	15.0	7.5	6.5	0.9	7.5	1.9	9.3	1.9	0.0	5.6
40代	155	64.5	43.9	20.6	28.4	12.3	8.4	14.2	2.6	15.5	9.0	2.6	11.0	5.8	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5
■女性計	314	58.3	25.5	29.3	22.0	18.2	9.9	16.6	5.1	16.2	7.3	10.5	4.8	1.0	8.9	5.7	5.7	3.5	8.6
10・20代	145	49.0	29.0	21.4	15.9	15.2	9.0	14.5	4.1	22.1	7.6	18.6	0.7	0.7	18.6	9.0	5.5	3.4	7.6
30代	100	64.0	22.0	34.0	30.0	23.0	8.0	18.0	8.0	14.0	10.0	5.0	5.0	2.0	0.0	2.0	4.0	5.0	7.0
40代	69	69.6	23.2	39.1	23.2	17.4	14.5	18.8	2.9	7.2	2.9	1.4	13.0	0.0	1.4	4.3	8.7	1.4	13.0
独身者・結婚意向なし	284	18.0	14.4	36.6	16.2	31.3	39.4	18.7	42.6	4.6	10.6	2.8	7.4	9.9	0.7	1.4	2.5	2.1	9.9
■男性計	132	11.4	25.8	39.4	16.7	21.2	33.3	25.0	39.4	6.1	11.4	3.0	6.8	15.9	0.8	3.0	2.3	0.0	7.6
10・20代	14	0.0	7.1	42.9	21.4	21.4	57.1	28.6	28.6	14.3	7.1	14.3	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1
30代	28	14.3	28.6	42.9	17.9	14.3	25.0	28.6	39.3	3.6	14.3	0.0	3.6	21.4	0.0	3.6	3.6	0.0	7.1
40代	90	12.2	27.8	37.8	15.6	23.3	32.2	23.3	41.1	5.6	11.1	2.2	8.9	13.3	0.0	3.3	2.2	0.0	7.8
■女性計	152	23.7	4.6	34.2	15.8	40.1	44.7	13.2	45.4	3.3	9.9	2.6	7.9	4.6	0.7	0.0	2.6	3.9	11.8
10・20代	21	19.0	0.0	33.3	28.6	33.3	33.3	28.6	38.1	9.5	19.0	9.5	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	4.8	4.8
30代	50	16.0	6.0	36.0	16.0	38.0	44.0	14.0	52.0	0.0	8.0	2.0	4.0	8.0	0.0	0.0	4.0	6.0	20.0
40代	81	29.6	4.9	33.3	12.3	43.2	48.1	8.6	43.2	3.7	8.6	1.2	12.3	2.5	0.0	0.0	1.2	2.5	8.6

※「そもそも結婚願望がないから」、「今の生活で充分幸せだから」、「家族を養う責任を負いたくないから」は新規項目

問8 「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)
 【回答者：問7で「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した者】

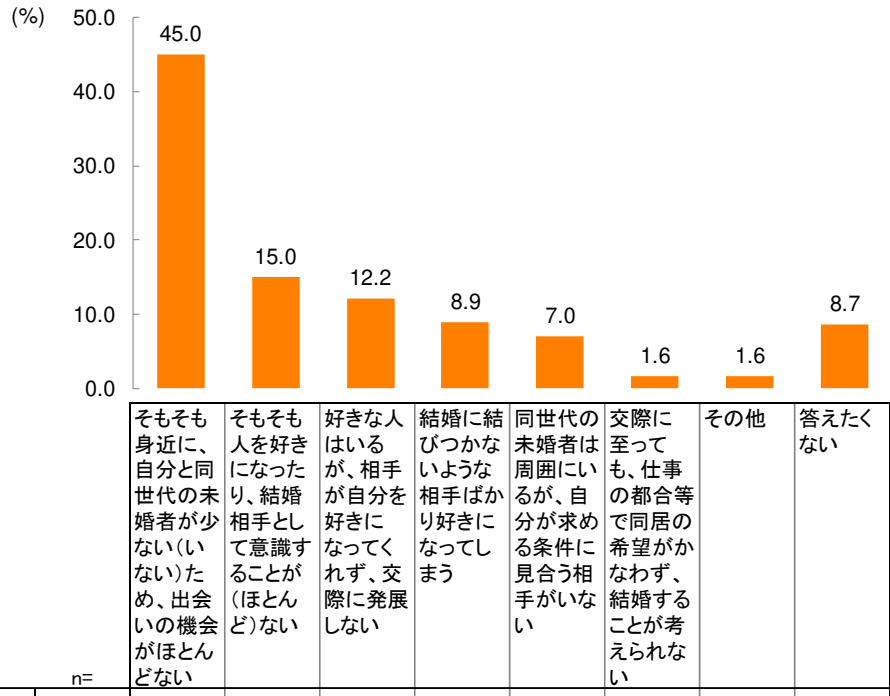
現在独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な理由については、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」(45.0%)が最も高い。

性・年代別にみると、男性30代、40代では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」(30代：57.1%、40代：55.0%)が高い。また、女性10・20代では「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」(14.7%)が、女性40代では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」(23.6%)が高くなっている。



		n=	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない	好きな人はいるが、相手が自分を好きにならず、交際に発展しない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまふ	同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない
TOTAL		427	45.0	15.0	12.2	8.9	7.0	1.6	1.6	8.7
*性別×年代	■男性 計	208	50.0	11.5	15.4	6.7	3.4	1.4	1.0	10.6
	10・20代	34	20.6	17.6	23.5	8.8	2.9	2.9	2.9	20.6
	30代	63	57.1	9.5	17.5	4.8	0.0	0.0	0.0	11.1
	40代	111	55.0	10.8	11.7	7.2	5.4	1.8	0.9	7.2
	■女性 計	219	40.2	18.3	9.1	11.0	10.5	1.8	2.3	6.8
	10・20代	75	28.0	20.0	13.3	8.0	14.7	4.0	1.3	10.7
	30代	72	51.4	11.1	5.6	11.1	9.7	1.4	2.8	6.9
	40代	72	41.7	23.6	8.3	13.9	6.9	0.0	2.8	2.8

性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい」と回答した男性では、ほかの性・結婚意向と比べ、「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」(24.6%)が高い。また、「結婚するつもりはない」と回答した女性では、「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」(38.9%)が高くなっている。

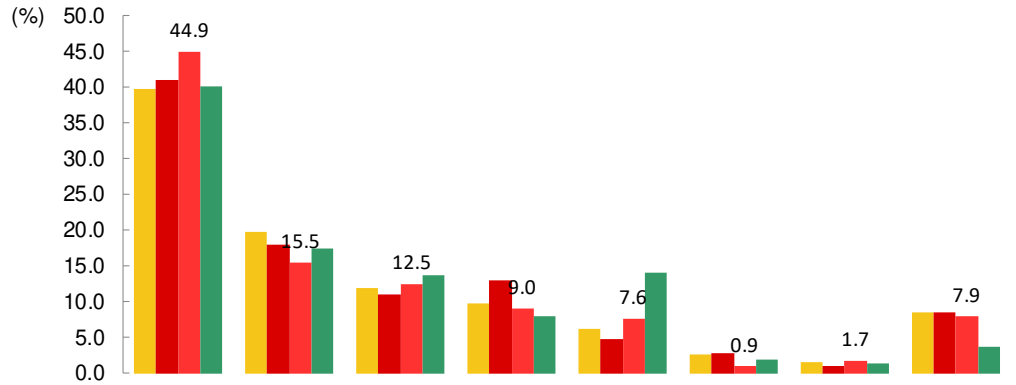


		n=	45.0	15.0	12.2	8.9	7.0	1.6	1.6	8.7
TOTAL		427	45.0	15.0	12.2	8.9	7.0	1.6	1.6	8.7
* 性別×結婚意向	■男性 計	208	50.0	11.5	15.4	6.7	3.4	1.4	1.0	10.6
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	65	38.5	6.2	24.6	9.2	4.6	3.1	0.0	13.8
	いずれは結婚したい	128	59.4	11.7	11.7	6.3	2.3	0.8	1.6	6.3
	結婚するつもりはない	15	20.0	33.3	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	33.3
	■女性 計	219	40.2	18.3	9.1	11.0	10.5	1.8	2.3	6.8
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	62	51.6	6.5	8.1	16.1	6.5	3.2	1.6	6.5
	いずれは結婚したい	121	39.7	18.2	11.6	7.4	12.4	1.7	2.5	6.6
	結婚するつもりはない	36	22.2	38.9	2.8	13.9	11.1	0.0	2.8	8.3

全国を対象に実施した「平成 30 年度「少子化対策に関する意識調査」(内閣府)と比較した結果は以下のとおりである。

上位 2 項目に大きな違いはみられないが、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」は、内閣府調査が 14.0%に対し、長野県は 7.6%と低くなっている。

■ 令和元年度調査(n=388) ■ 令和2年度調査(n=317) ■ 令和3年度調査(今回調査)(n=343) ■ (参考)内閣府調査(n=681)



	n=	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない	好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう	同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない
令和3年度調査(今回調査)	343	44.9	15.5	12.5	9.0	7.6	0.9	1.7	7.9
令和2年度調査	317	41.0	18.0	11.0	12.9	4.7	2.8	0.9	8.5
令和元年度調査	388	39.7	19.8	11.9	9.8	6.2	2.6	1.5	8.5
(参考)内閣府調査	681	40.1	17.5	13.7	7.9	14.0	1.9	1.3	3.7

※ともに 20～49 歳男女の未婚者(結婚したことはない)を対象として比較。

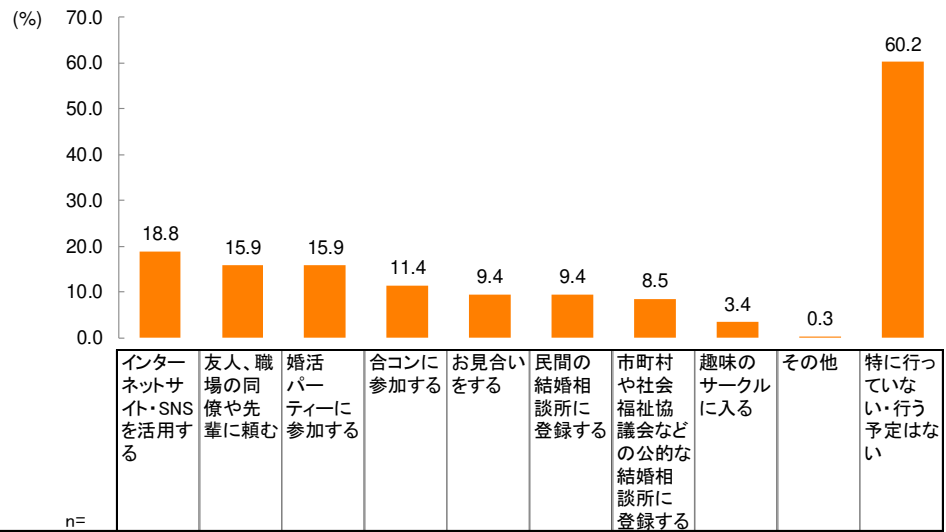
※内閣府調査と長野県調査の選択肢相違箇所

平成 30 年度「少子化対策に関する意識調査」(内閣府)	令和元年度、令和 2 年度、令和 3 年度調査(長野県)
結婚に結びつかないような相手(例:結婚願望のない未婚者や既婚者)ばかり好きになってしまう	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう

問9 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。
 (回答はいくつでも) 【回答者: 結婚意向がある者(結婚予定がある者を除く)】

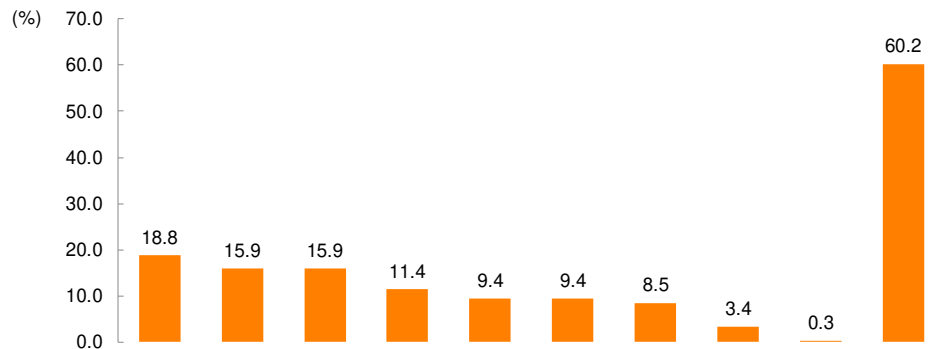
「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「インターネットサイト・SNSを活用する」(18.8%)が最も高い。次いで、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」「婚活パーティーに参加する」(ともに15.9%)と続く。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は約6割(60.2%)を占める。

性・年代別にみると、女性40代では「婚活パーティーに参加する」(29.0%)、「民間の結婚相談所に登録する」(18.8%)、「市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する」(20.3%)が高くなっている。また、女性30代では「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(24.0%)が高い。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	お見合いをする	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない
	TOTAL	648	18.8	15.9	15.9	11.4	9.4	9.4	8.5	3.4	0.3	60.2
* 性別×年代	■男性 計	334	18.6	12.0	15.0	11.7	9.6	9.6	7.2	2.7	0.6	60.8
	10・20代	72	18.1	9.7	9.7	15.3	4.2	9.7	4.2	2.8	0.0	66.7
	30代	107	22.4	13.1	21.5	13.1	10.3	3.7	8.4	4.7	0.0	57.0
	40代	155	16.1	12.3	12.9	9.0	11.6	13.5	7.7	1.3	1.3	60.6
	■女性 計	314	19.1	20.1	16.9	11.1	9.2	9.2	9.9	4.1	0.0	59.6
	10・20代	145	16.6	15.2	11.0	10.3	6.2	2.8	4.1	3.4	0.0	71.7
	30代	100	20.0	24.0	17.0	12.0	9.0	12.0	11.0	4.0	0.0	52.0
	40代	69	23.2	24.6	29.0	11.6	15.9	18.8	20.3	5.8	0.0	44.9

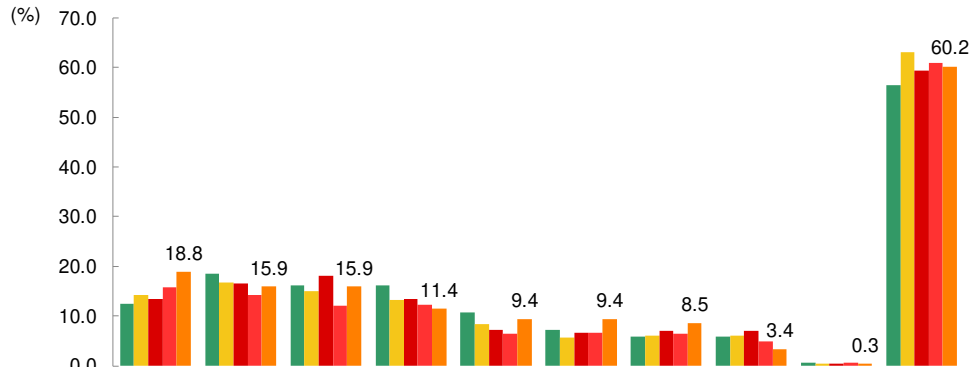
性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい／2・3年以内に結婚したい」と回答した者では、男性は「婚活パーティーに参加する」(24.3%)、「お見合いをする」(19.4%)が高く、女性は「インターネットサイト・SNSを活用する」(29.5%)、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(25.9%)が高くなっている。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	お見合いをする	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		648	18.8	15.9	15.9	11.4	9.4	9.4	8.5	3.4	0.3	60.2
* 性別 × 結婚意向	■男性 計	334	18.6	12.0	15.0	11.7	9.6	9.6	7.2	2.7	0.6	60.8
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	103	23.3	22.3	24.3	16.5	19.4	12.6	9.7	1.9	0.0	48.5
	いずれは結婚したい	231	16.5	7.4	10.8	9.5	5.2	8.2	6.1	3.0	0.9	66.2
	■女性 計	314	19.1	20.1	16.9	11.1	9.2	9.2	9.9	4.1	0.0	59.6
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	112	29.5	25.9	22.3	11.6	11.6	15.2	14.3	3.6	0.0	45.5
	いずれは結婚したい	202	13.4	16.8	13.9	10.9	7.9	5.9	7.4	4.5	0.0	67.3

平成 29～令和 3 年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「合コンに参加する」、「趣味のサークルに入る」はやや低下傾向にある一方で、「インターネットサイト・SNS を活用する」はやや増加傾向がみられる。

■平成29年度調査(n=665) ■平成30年度調査(n=652) ■令和元年度調査(n=599) ■令和2年度調査(n=551) ■令和3年度調査(今回調査)(n=648)



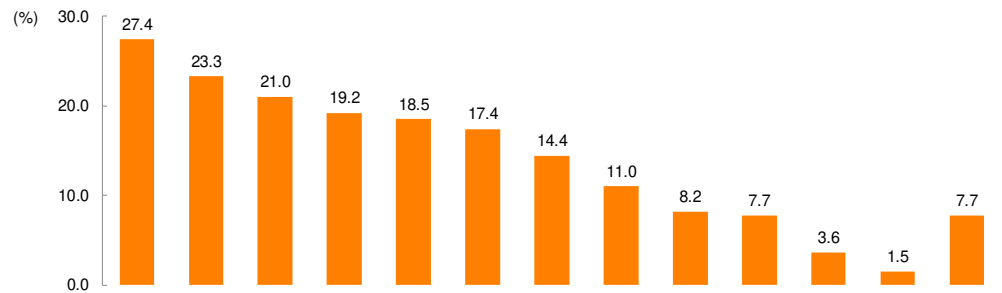
	n=	インターネットサイト・SNS を活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	お見合いをする	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない
令和3年度調査(今回調査)	648	18.8	15.9	15.9	11.4	9.4	9.4	8.5	3.4	0.3	60.2
令和2年度調査	551	15.8	14.3	12.0	12.2	6.4	6.7	6.5	4.9	0.5	61.0
令和元年度調査	599	13.5	16.5	18.2	13.5	7.3	6.7	7.0	7.0	0.3	59.3
平成30年度調査	652	14.3	16.7	15.0	13.3	8.4	5.7	6.1	6.0	0.3	63.0
平成29年度調査	665	12.5	18.5	16.2	16.1	10.8	7.2	5.9	5.9	0.5	56.5

※グラフは今回調査の順でソート

問10 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：問9で婚活は特に行っていないと回答した者】

婚活を特に行っていない・行う予定はない理由としては、「交際相手がいるから」(27.4%)、「自然な流れで出会いたいから」(23.3%)、「面倒だから」(21.0%)と高い。

性・年代別にみると、女性10・20代では「交際相手がいるから」(44.2%)、「そこまでする必要を感じないから」(26.9%)が高い一方、「具体的に何をすればよいかわからないから」(8.7%)、「婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから」(2.9%)が低い。また、男性40代では「婚活サービスは参加料金が安いから」(26.6%)、「忙しくて時間がないから」(21.3%)と高くなっている。



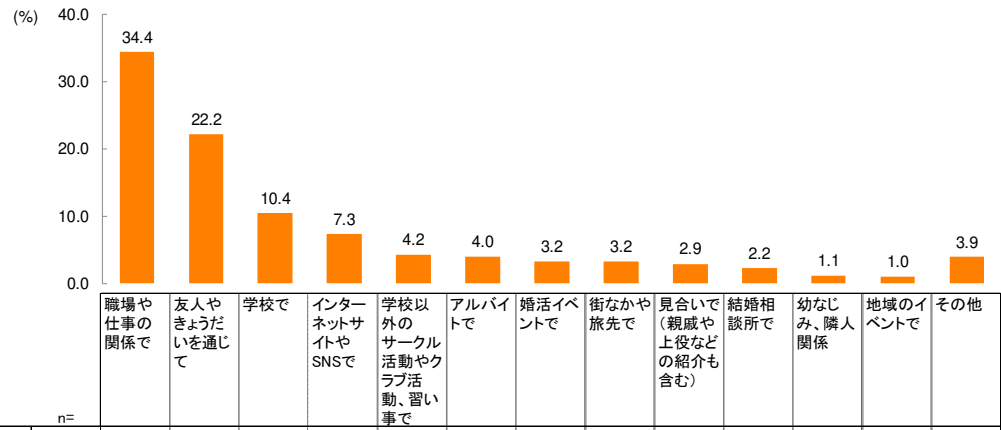
		n=	交際相手がいるから	自然な流れで出会いたいから	面倒だから	そこまでする必要を感じないから	具体的に何をすればよいかわからないから	婚活サービスは参加料金が安いから	忙しくて時間がないから	婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから	婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから	婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから	婚活サービスは日程が合わないから	その他	答えたくない
TOTAL		390	27.4	23.3	21.0	19.2	18.5	17.4	14.4	11.0	8.2	7.7	3.6	1.5	7.7
*性別×年代	■男性計	203	20.2	26.1	22.2	16.7	21.2	21.2	16.7	8.4	9.9	7.4	4.9	1.5	8.9
	10・20代	48	22.9	22.9	18.8	27.1	18.8	14.6	14.6	6.3	6.3	4.2	2.1	0.0	8.3
	30代	61	21.3	24.6	27.9	21.3	18.0	18.0	11.5	8.2	9.8	8.2	3.3	1.6	13.1
	40代	94	18.1	28.7	20.2	8.5	24.5	26.6	21.3	9.6	11.7	8.5	7.4	2.1	6.4
	■女性計	187	35.3	20.3	19.8	21.9	15.5	13.4	11.8	13.9	6.4	8.0	2.1	1.6	6.4
	10・20代	104	44.2	19.2	15.4	26.9	8.7	7.7	15.4	10.6	2.9	1.9	1.9	1.0	8.7
	30代	52	23.1	21.2	23.1	13.5	21.2	21.2	3.8	17.3	11.5	13.5	1.9	3.8	5.8
	40代	31	25.8	22.6	29.0	19.4	29.0	19.4	12.9	19.4	9.7	19.4	3.2	0.0	0.0

(3) 既婚者の結婚生活の状況

問11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)
【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」(34.4%)が最も高い。次いで、「友人やきょうだいを通じて」(22.2%)、「学校で」(10.4%)と続く。

性・年代別にみると、男性40代では「職場や仕事の関係で」(42.1%)が最も高い。女性10代～30代では「学校で」(10・20代：18.0%、30代：13.7%)、「インターネットサイトやSNSで」(10・20代：16.2%、30代：11.1%)が高くなっている。



		n=	職場や仕事の関係で	友人やきょうだいを通じて	学校で	インターネットサイトやSNSで	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	アルバイトで	婚活イベントで	街なかや旅先で	見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)	結婚相談所で	幼なじみ、隣人関係	地域のイベントで	その他
TOTAL		1735	34.4	22.2	10.4	7.3	4.2	4.0	3.2	3.2	2.9	2.2	1.1	1.0	3.9
*性別×年代	■男性計	842	37.5	22.2	9.4	5.1	4.9	3.0	3.7	3.1	3.0	2.0	1.3	1.2	3.7
	10・20代	28	21.4	32.1	14.3	7.1	0.0	7.1	3.6	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	30代	239	28.5	24.3	13.4	6.3	6.7	2.5	6.3	1.7	2.5	2.1	1.3	2.1	2.5
	40代	575	42.1	20.9	7.5	4.5	4.3	3.0	2.6	3.5	3.3	2.1	1.0	0.9	4.3
	■女性計	893	31.5	22.3	11.4	9.3	3.6	4.9	2.8	3.2	2.8	2.4	0.9	0.8	4.1
	10・20代	111	27.9	18.0	18.0	16.2	1.8	8.1	0.9	2.7	0.0	0.0	0.0	0.9	5.4
	30代	350	28.0	22.6	13.7	11.1	3.7	4.6	4.9	1.7	2.6	1.4	1.4	0.6	3.7
	40代	432	35.2	23.1	7.9	6.0	3.9	4.4	1.6	4.6	3.7	3.7	0.7	0.9	4.2

(4) 働き方に関する現状

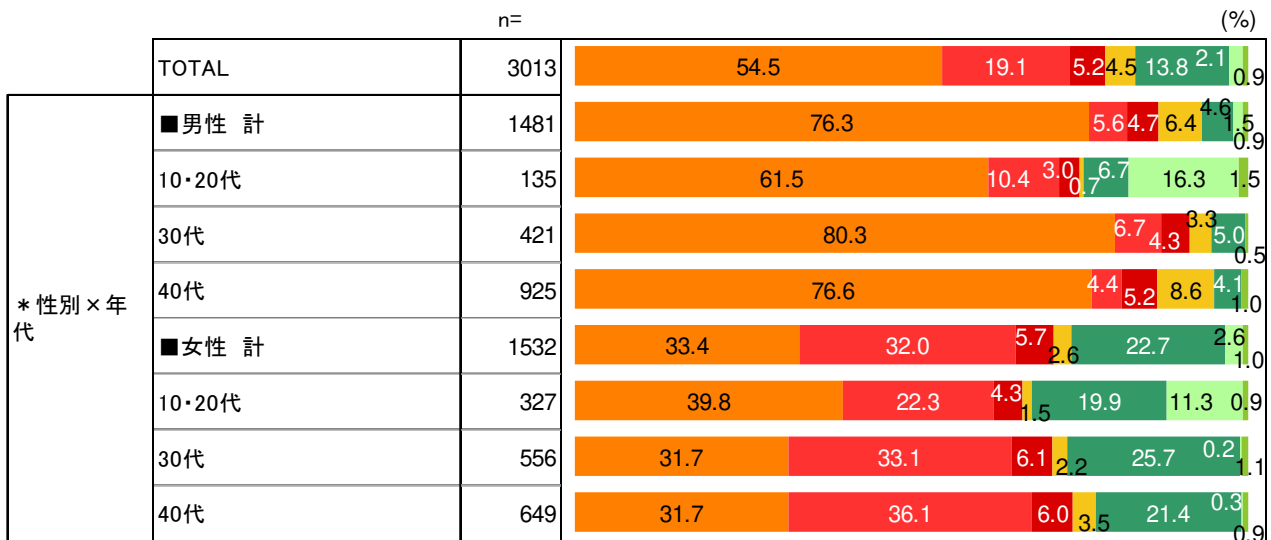
問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代、40代では「正規の社員・職員」が8割前後（30代：80.3%、40代：76.6%）を占めるが、10・20代では61.5%とやや低い割合である。一方、女性の場合、「正規の社員・職員」は10・20代では約4割（39.8%）、30代、40代では約3割（ともに31.7%）である。

配偶者の就労状況は、男性回答者の配偶者の場合「パート・アルバイト」または「無職・家事」の割合が高く、女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割を超えている（10・20代：82.0%、30代：88.0%、40代：82.9%）。

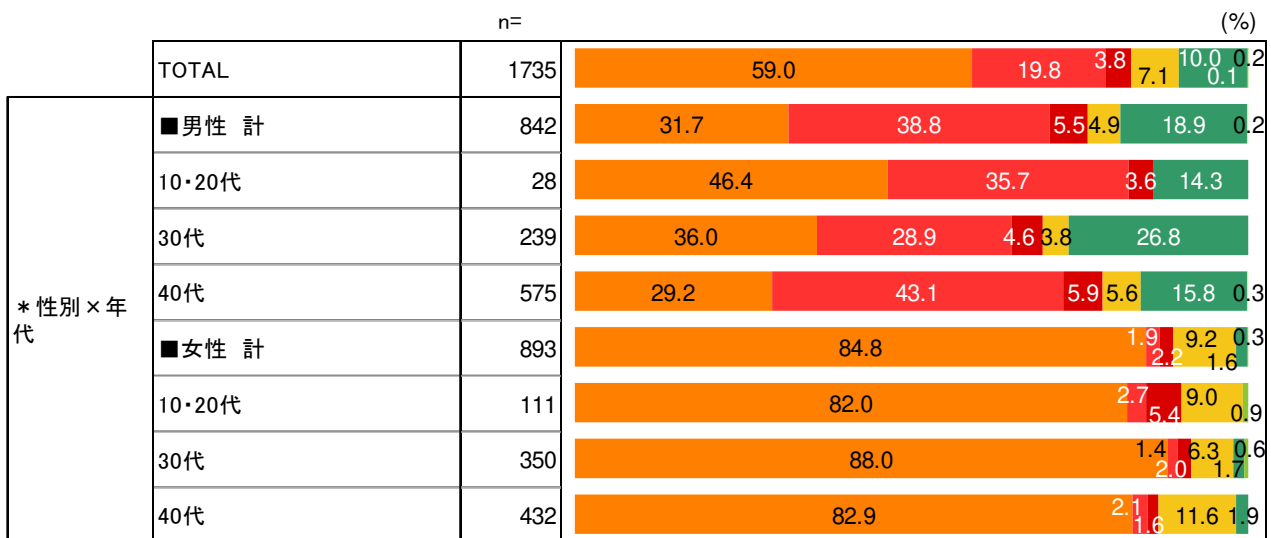
○ あなた自身の状況

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



○ 配偶者の状況（既婚者のみ）

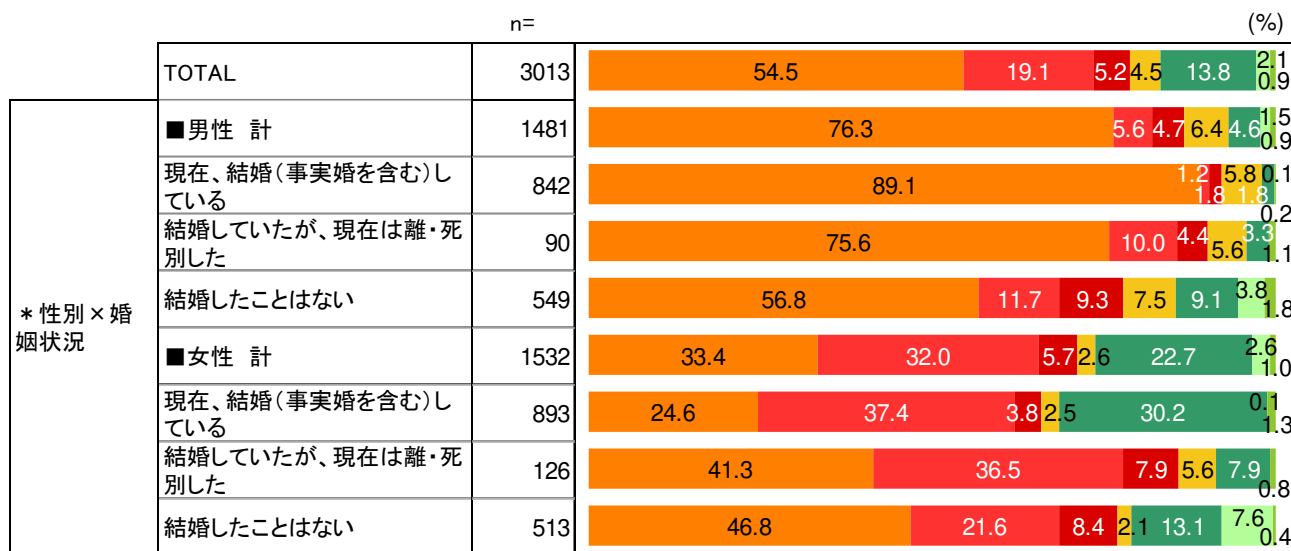
- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



性・婚姻状況別にみると、「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した男性は、「正規の社員・職員」（89.1%）が高い。「結婚したことはない」と回答した男性は、「パート・アルバイト」（11.7%）、「派遣・嘱託・契約社員」（9.3%）等と、「正規の社員・職員」以外が高い。

「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した女性は、「パート・アルバイト」（37.4%）や「無職・家事」（30.2%）が高い。「結婚したことはない」と回答した女性は「正規の社員・職員」（46.8%）が高く、「パート・アルバイト」（21.6%）が低い。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



(5) 出産や子育てに関する意識と現状

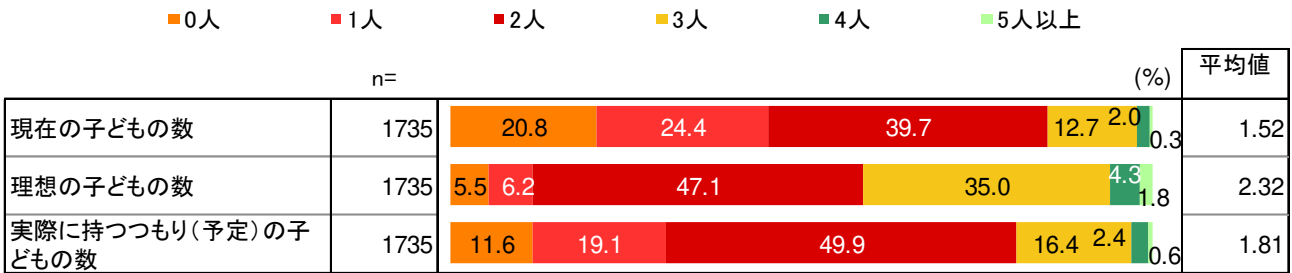
問13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

<既婚者の場合>

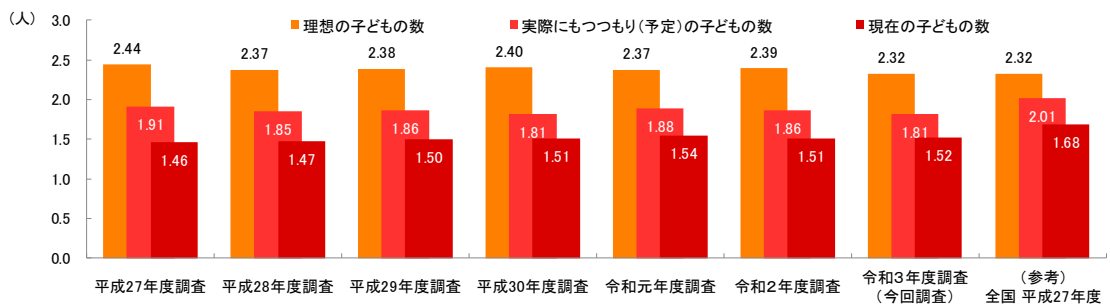
現在の子どもの数は、1人が24.4%、2人が39.7%、3人が12.7%、平均すると1.52人である。0人の割合は約2割(20.8%)となっている。

理想の子どもの数は、1人が6.2%、2人が47.1%、3人が35.0%、平均すると2.32人である。

実際に持つつもり(予定)の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が19.1%、2人が49.9%、3人が16.4%、平均すると1.81人である。



なお、平成27～令和3年度調査(今回調査)までの経年変化は以下のとおりである。平成27年度調査から概ね同程度で推移している。



理想の子どもの数	2.44	2.37	2.38	2.40	2.37	2.39	2.32	2.32
実際にもつつもり(予定)の子どもの数	1.91	1.85	1.86	1.81	1.88	1.86	1.81	2.01
現在の子どもの数	1.46	1.47	1.50	1.51	1.54	1.51	1.52	1.68

※全国値は「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」(国立社会保障・人口問題研究所)より出典

既婚者の性・年代別にみた現在の子ども数、理想の子ども数、実際に持つつもり（予定）の子ども数は、以下のとおりである。

① - 1 性・年代別

		n=	(%)					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
現在の子ども数	■男性 計	842	19.4	23.9	42.5	12.5	1.7	0.1	1.54
	10・20代	28	39.3	32.1	25.0	3.6			0.93
	30代	239	25.1	24.7	36.8	11.7	1.7		1.40
	40代	575	16.0	23.1	45.7	13.2	1.7	0.2	1.62
	■女性 計	893	22.2	25.0	37.1	13.0	2.2	0.6	1.50
	10・20代	111	34.2	37.8	24.3	2.7		0.9	0.98
	30代	350	22.9	24.0	36.3	14.6	1.7	0.6	1.50
	40代	432	18.5	22.5	41.0	14.4	3.0	0.7	1.63
理想の子ども数	■男性 計	842	5.2	6.7	50.1	33.5	3.0	1.5	2.28
	10・20代	28			60.7	35.7	3.6		2.46
	30代	239	3.8	4.6	51.5	35.6	2.9	1.7	2.35
	40代	575	6.1	7.8	49.0	32.5	3.1	1.4	2.24
	■女性 計	893	5.8	5.8	44.3	36.5	5.5	2.0	2.37
	10・20代	111	1.8	6.3	41.4	41.4	7.2	1.8	2.51
	30代	350	4.9	4.6	43.4	38.9	6.3	2.0	2.44
	40代	432	7.6	6.7	45.8	33.3	4.4	2.1	2.27
実際に持つつもり(予定)の子ども数	■男性 計	842	12.0	19.5	51.4	14.8	1.9	0.4	1.76
	10・20代	28	3.6	7.1	78.6	10.7			1.96
	30代	239	9.2	15.1	55.2	18.0	2.5		1.90
	40代	575	13.6	21.9	48.5	13.7	1.7	0.5	1.70
	■女性 計	893	11.2	18.8	48.5	17.9	2.8	0.8	1.85
	10・20代	111	3.6	16.2	58.6	19.8	0.9	0.9	2.01
	30代	350	7.7	14.3	53.1	20.9	3.1	0.9	2.00
	40代	432	16.0	23.1	42.1	15.0	3.0	0.7	1.69

既婚者の夫婦の働き方別にみると、現在の子どもの数は、共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では平均 1.70 人と多く、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では平均 1.41 人と少ない。

①-2 夫婦の働き方別

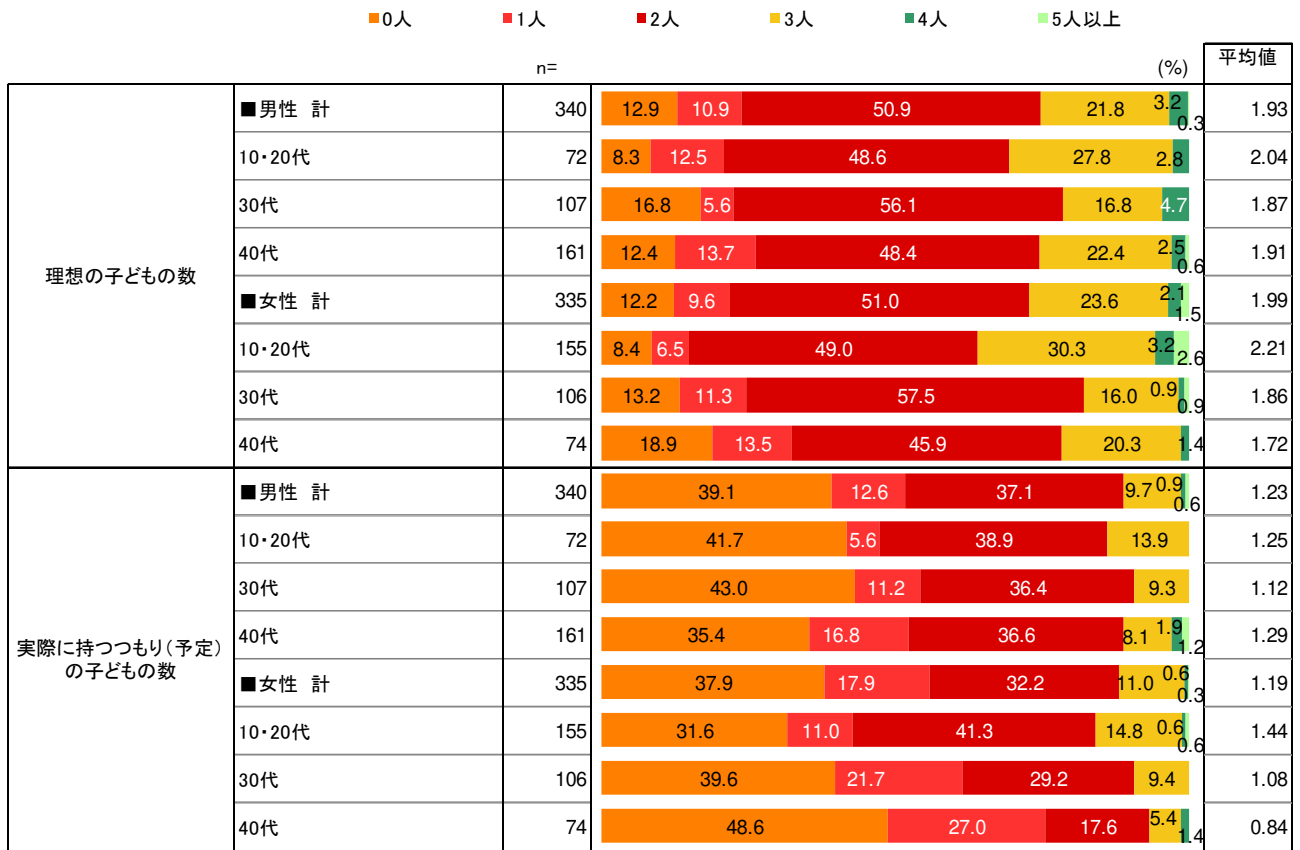
		n=					(%)	平均値
		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
現在の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	427	25.1	24.4	37.7	10.5	1.9	1.41
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	680	15.0	20.9	46.3	15.1	2.4	1.70
	共働き家庭(その他)	156	25.6	19.2	35.9	17.9	0.6	1.51
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	395	23.5	31.1	34.4	8.9	1.8	1.35
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	51	19.6	37.3	29.4	11.8	2.0	1.39
	その他	26	34.6	23.1	23.1	15.4	3.8	1.31
理想の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	427	4.9	5.4	44.0	39.3	4.7	2.40
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	680	3.5	5.9	50.3	34.9	4.1	2.35
	共働き家庭(その他)	156	10.9	5.8	38.5	38.5	3.8	2.27
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	395	6.6	8.4	49.6	28.6	4.6	2.23
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	51	7.8	5.9	43.1	37.3	3.9	2.29
	その他	26	15.4	38.5	42.3	3.8	2.23	2.23
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	427	10.5	17.6	52.0	16.6	2.6	1.85
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	680	8.2	19.3	52.4	17.2	2.6	1.88
	共働き家庭(その他)	156	17.9	15.4	42.3	21.8	1.3	1.77
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	395	15.4	22.8	46.3	12.7	2.0	1.65
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	51	7.8	19.6	54.9	15.7	2.0	1.84
	その他	26	26.9	7.7	42.3	19.2	3.8	1.65

＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

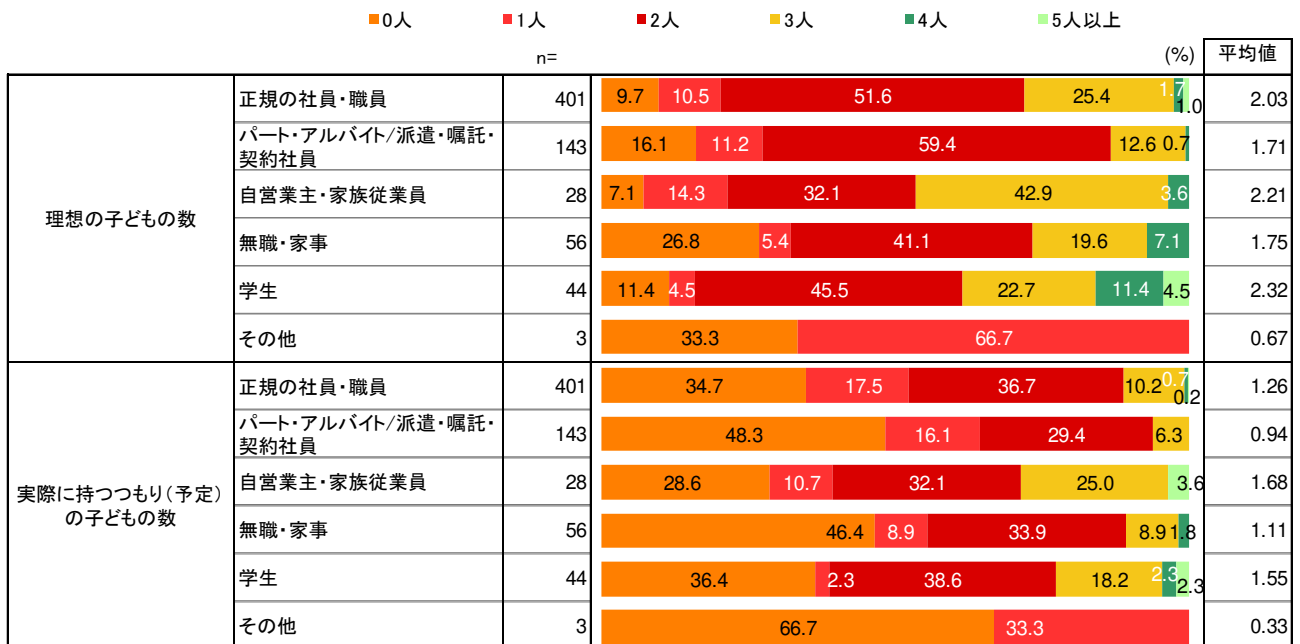
独身者のうち結婚予定・意向がある者を性・年代別にみると、いずれの年代でも理想の子どもの数は2人の割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は0人の割合が既婚者に比べ高い。

雇用形態別にみると、パート・アルバイト／派遣・嘱託・契約社員では、理想の子どもの数は平均1.71人なのに対し、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は平均0.94人と少なくなっている。

②－1 性・年代別



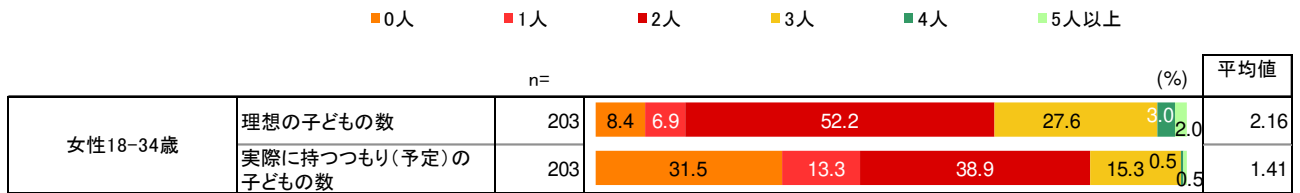
②－2 雇用形態別



＜女性 18-34 歳の場合＞（希望出生率の算出根拠）

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 52.2%、3 人が 27.6%、平均 2.16 人であった。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、0 人が 31.5%、1 人が 13.3%、2 人が 38.9%、平均 1.41 人であった。



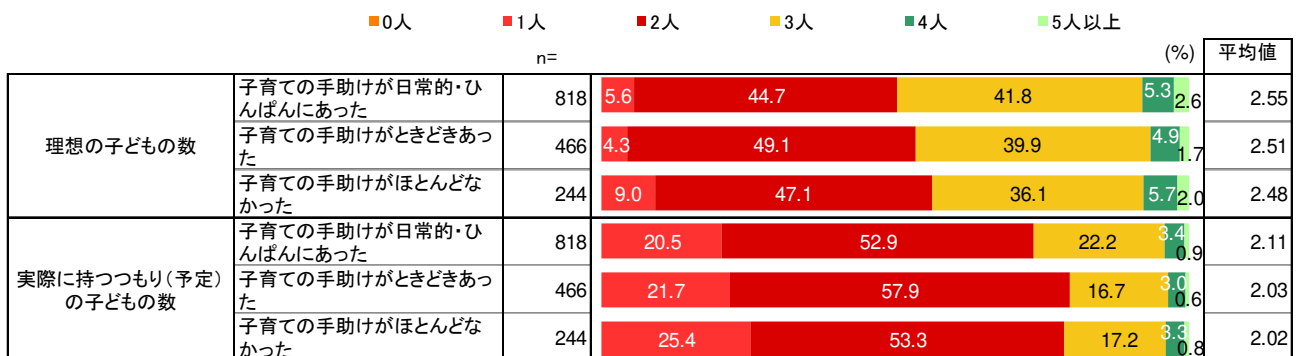
※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

＜子どもが 1 人以上いる者の場合＞

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けが「日常的・ひんぱんにあった」人は、理想の子どもの数、実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに 3 人以上の割合がやや高いが、親からの子育て支援の状況では大きな差はみられない。

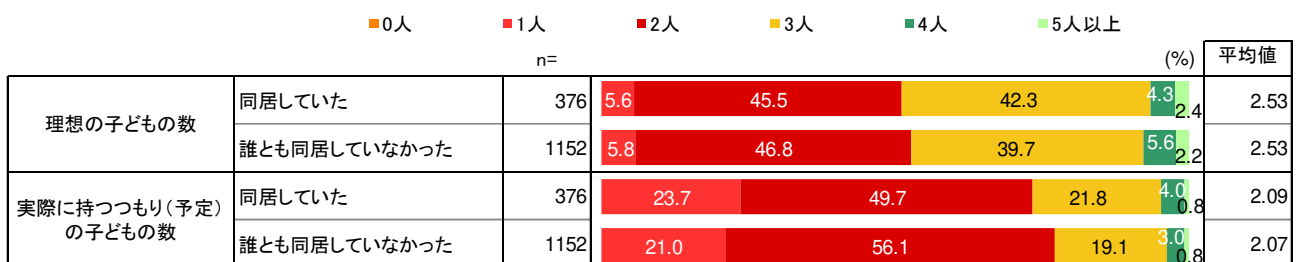
子どもが 3 歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、理想の子どもの数・実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに、親との同居有無では大きな差はみられない。

② - 1 親からの子育て支援の状況別



※親からの子育て支援は、問 18 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③ - 2 親との同居有無別



※親との同居の有無は、問 19 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「誰とも同居していなかった」としている。

問14 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

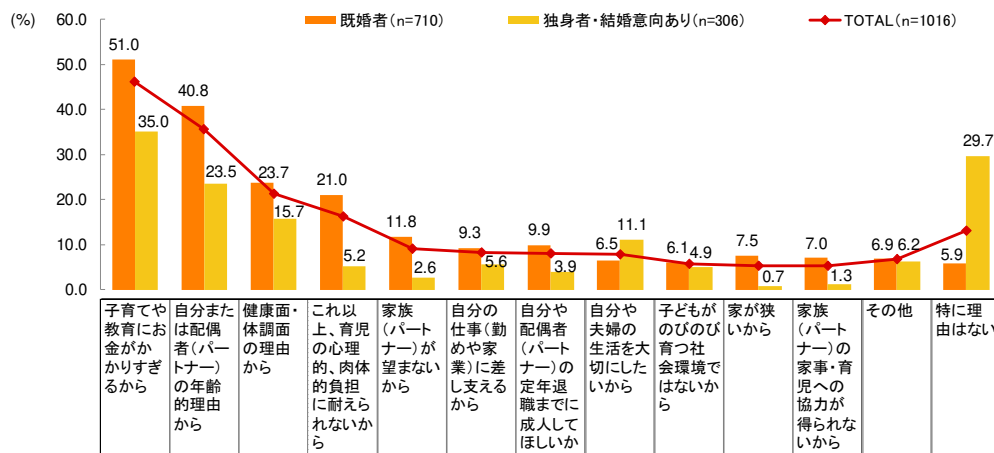
【問13で「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

実際に持つつもり(予定)の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(46.2%)が最も高い。次いで、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(35.6%)、「健康面・体調面の理由から」(21.3%)と続く。

既婚者の理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(51.0%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(40.8%)、「健康面・体調面の理由から」(23.7%)等の上位の理由は、いずれも全体でみた場合よりも高くなっている。

独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者に比べ経済的・年齢的な理由を挙げる割合は低い。一方、「特に理由はない」(29.7%)は既婚者に比べて高くなっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



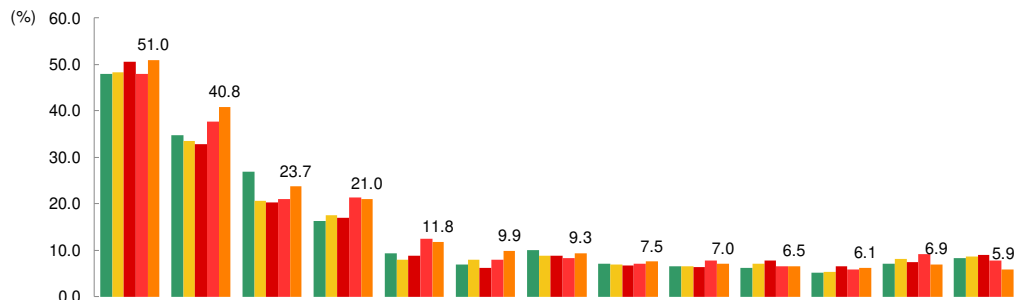
		n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	家族(パートナー)が望まないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	家が狭いから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	その他	特に理由はない
	TOTAL	1016	46.2	35.6	21.3	16.2	9.1	8.2	8.1	7.9	5.7	5.4	5.3	6.7	13.1
* 婚姻状況	既婚者	710	51.0	40.8	23.7	21.0	11.8	9.3	9.9	6.5	6.1	7.5	7.0	6.9	5.9
	独身者・結婚意向あり	306	35.0	23.5	15.7	5.2	2.6	5.6	3.9	11.1	4.9	0.7	1.3	6.2	29.7

※グラフはTOTALの順でソート

既婚者の回答について5年間の推移を比較すると、「自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から」、「これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」という理由は上昇傾向がみられる。年代別に5年間の推移をみると、10・20代では「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」、30代、40代では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という理由はやや増加している。

<既婚者の場合>

■平成29年度調査(n=746) ■平成30年度調査(n=828) ■令和元年度調査(n=729) ■令和2年度調査(n=771) ■令和3年度調査(今回調査)(n=710)



		n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	家族(パートナー)が望まないから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	家が狭いから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	その他	特に理由はない
TOTAL	令和3年度調査(今回調査)	710	51.0	40.8	23.7	21.0	11.8	9.9	9.3	7.5	7.0	6.5	6.1	6.9	5.9
	令和2年度調査	771	47.9	37.7	20.9	21.3	12.5	8.0	8.3	7.1	7.7	6.5	5.8	9.2	7.7
	令和元年度調査	729	50.5	32.8	20.3	17.0	8.8	6.2	8.8	6.7	6.3	7.8	6.6	7.4	8.9
	平成30年度調査	828	48.4	33.6	20.7	17.5	8.0	7.9	8.8	6.9	6.6	7.1	5.3	8.1	8.6
	平成29年度調査	746	48.0	34.7	26.9	16.2	9.4	6.8	10.1	7.0	6.6	6.2	5.2	7.1	8.3
10・20代	令和3年度調査(今回調査)	55	70.9	5.5	10.9	27.3	7.3	3.6	10.9	9.1	10.9	10.9	12.7	9.1	9.1
	令和2年度調査	57	71.9	5.3	10.5	22.8	14.0	3.5	8.8	17.5	17.5	14.0	12.3	5.3	7.0
	令和元年度調査	62	71.0	4.8	14.5	21.0	8.1	4.8	9.7	12.9	8.1	21.0	9.7	3.2	9.7
	平成30年度調査	43	74.4	2.3	2.3	18.6	2.3	2.3	16.3	11.6	14.0	7.0	11.6	11.6	2.3
	平成29年度調査	64	56.3	12.5	18.8	14.1	10.9	6.3	12.5	12.5	7.8	17.2	3.1	3.1	12.5
30代	令和3年度調査(今回調査)	223	70.0	30.9	20.2	21.1	12.1	8.5	13.5	10.8	9.0	9.4	8.5	7.2	3.6
	令和2年度調査	263	59.3	35.0	17.1	27.0	15.6	8.0	12.5	10.3	9.9	8.4	6.5	10.6	5.7
	令和元年度調査	248	62.9	27.8	15.3	22.6	12.1	6.0	12.5	8.9	8.9	8.1	7.7	9.3	7.3
	平成30年度調査	310	58.1	31.6	20.3	21.0	9.4	7.4	12.6	10.0	8.4	7.4	7.7	9.0	6.5
	平成29年度調査	268	56.7	33.2	24.6	22.4	8.6	5.2	13.8	9.3	9.3	5.6	5.6	5.6	7.8
40代	令和3年度調査(今回調査)	432	38.7	50.5	27.1	20.1	12.3	11.3	6.9	5.6	5.6	4.4	3.9	6.5	6.7
	令和2年度調査	451	38.1	43.5	24.4	17.7	10.4	8.6	5.8	4.0	5.1	4.4	4.7	8.9	8.9
	令和元年度調査	419	40.1	39.9	24.1	13.1	6.9	6.4	6.4	4.5	4.5	5.7	5.5	6.9	9.8
	平成30年度調査	475	39.8	37.7	22.5	15.2	7.6	8.6	5.7	4.4	4.8	6.9	3.2	7.2	10.5
	平成29年度調査	414	41.1	39.1	29.7	12.6	9.7	8.0	7.2	4.6	4.6	4.8	5.3	8.7	8.0

※グラフは今回調査の順でソート

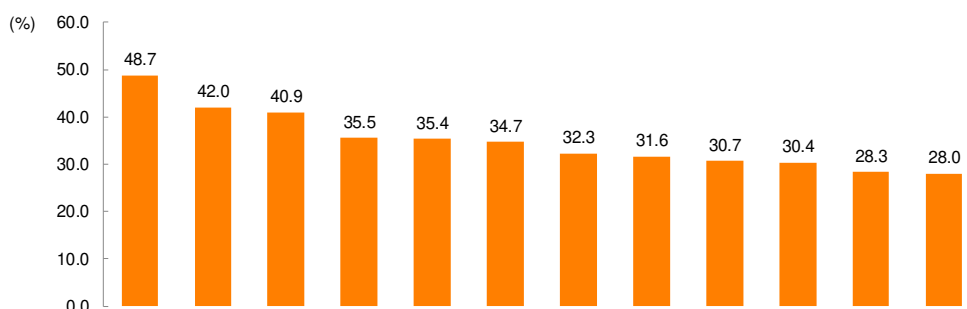
問15 長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。(回答はいくつでも)

【問13で「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

2人、3人と出産し、育てていくために必要だと思うことは、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」が48.7%と最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(42.0%)、「職場の理解」(40.9%)、「満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減」(35.5%)と続く。

性・年代別にみると、「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」は男性が20.1%、女性が43.3%となっており、女性のほうが23.2ポイント高い。また、男性30代では「住居費用の補助の拡充・増額」(43.3%)が、女性10・20代では「配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」(41.6%)、「配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実」(40.7%)が、女性30代では「妊娠・出産に関する医療サービスの向上」(38.9%)が、女性10代～30代では「幼稚園・保育園などの充実」(10・20代：46.0%、30代：42.2%)が、女性30代、40代では「産婦人科の充実」(30代：34.6%、40代：39.4%)がそれぞれ高い。

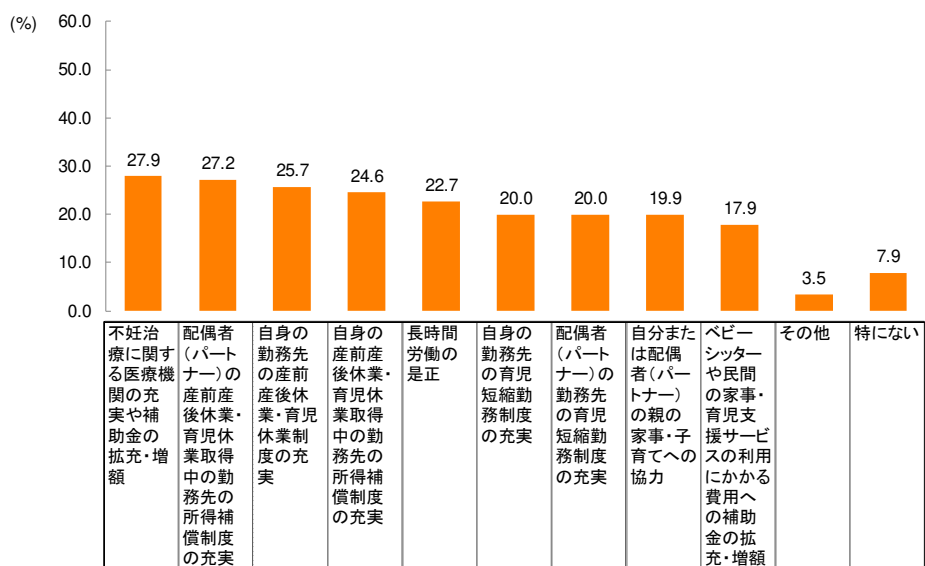
<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



		n=	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	職場の理解	満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減	幼稚園・保育園などの充実	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	住居費用の補助の拡充・増額	産婦人科の充実	地域や自治体の育児支援サービスの充実
TOTAL		1016	48.7	42.0	40.9	35.5	35.4	34.7	32.3	31.6	30.7	30.4	28.3	28.0
*性別×年代	■男性 計	482	46.1	39.8	35.1	39.6	31.3	32.8	20.1	28.6	28.8	31.3	20.3	26.1
	10・20代	43	55.8	27.9	46.5	37.2	30.2	37.2	18.6	23.3	27.9	27.9	16.3	23.3
	30代	134	45.5	50.0	39.6	43.3	38.1	36.6	20.1	23.9	29.1	43.3	18.7	20.9
	40代	305	44.9	37.0	31.5	38.4	28.5	30.5	20.3	31.5	28.9	26.6	21.6	28.9
	■女性 計	534	51.1	44.0	46.3	31.8	39.1	36.5	43.3	34.3	32.4	29.6	35.6	29.6
	10・20代	113	60.2	51.3	44.2	39.8	46.0	38.9	43.4	39.8	41.6	32.7	29.2	29.2
	30代	185	56.8	53.5	45.4	34.1	42.2	36.2	42.7	38.9	31.9	34.6	34.6	29.2
	40代	236	42.4	33.1	47.9	26.3	33.5	35.6	43.6	28.0	28.4	24.2	39.4	30.1

※「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」、「満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の更なる費用の軽減」は新規項目

(前表のつづき)

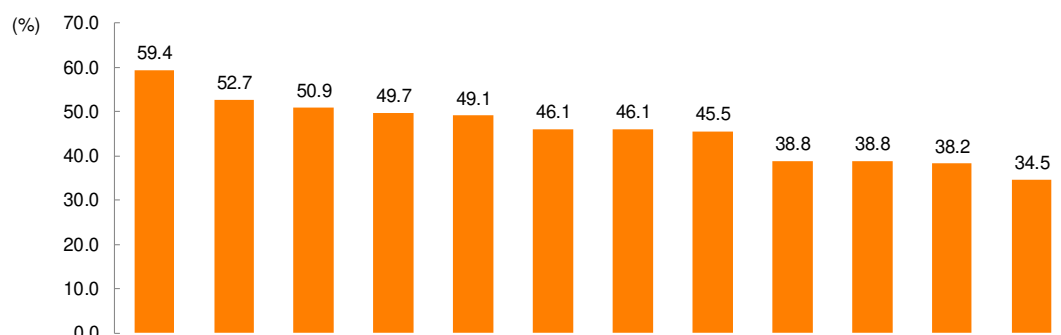


		n=	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の拡充・増額	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	長時間労働の是正	自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額	その他	特にない
TOTAL		1016	27.9	27.2	25.7	24.6	22.7	20.0	20.0	19.9	17.9	3.5	7.9
*性別×年代	■男性計	482	21.2	25.1	25.1	23.4	25.9	18.0	18.9	15.8	13.5	2.7	9.1
	10・20代	43	14.0	23.3	23.3	30.2	20.9	23.3	20.9	18.6	7.0	2.3	9.3
	30代	134	18.7	21.6	26.9	23.1	32.8	19.4	16.4	13.4	14.2	3.0	12.7
	40代	305	23.3	26.9	24.6	22.6	23.6	16.7	19.7	16.4	14.1	2.6	7.5
	■女性計	534	33.9	29.0	26.2	25.7	19.9	21.7	21.0	23.6	21.9	4.3	6.7
	10・20代	113	28.3	40.7	31.0	31.0	26.5	23.0	26.5	28.3	23.9	3.5	8.0
	30代	185	33.5	26.5	25.4	28.6	20.0	23.2	18.9	21.6	24.3	3.8	5.9
	40代	236	36.9	25.4	24.6	20.8	16.5	19.9	19.9	22.9	19.1	5.1	6.8

問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(59.4%) が最も高い。次いで、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(52.7%)、「大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額」(50.9%) と続く。

性別にみると、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」、「職場の理解」、「地域や自治体の育児支援サービスの充実」、「妊娠・出産に関する医療サービスの向上」、「産婦人科の充実」、「ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額」は、男性よりも女性で高くなっている。

＜問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合＞

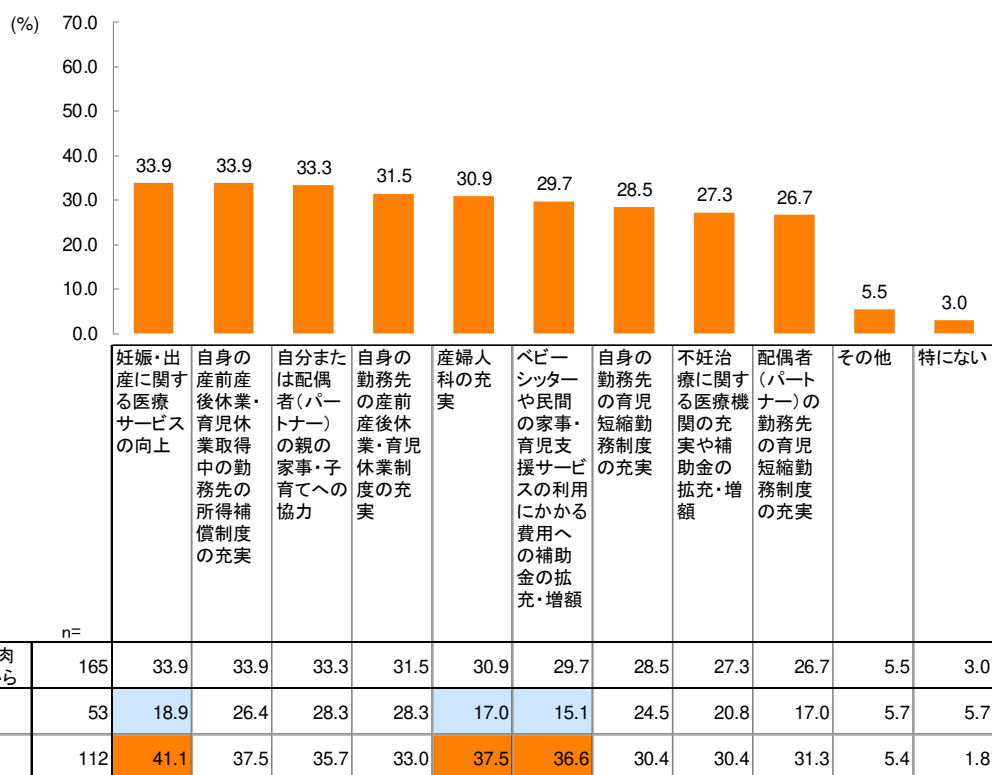


	n=	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力	職場の理解	幼稚園・保育所などの充実	満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減	配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	地域や自治体の育児支援サービスの充実	配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	住居費用の補助の拡充・増額	長時間労働の是正
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	165	59.4	52.7	50.9	49.7	49.1	46.1	46.1	45.5	38.8	38.8	38.2	34.5
男性	53	54.7	41.5	39.6	28.3	34.0	37.7	49.1	37.7	26.4	30.2	35.8	35.8
女性	112	61.6	58.0	56.3	59.8	56.3	50.0	44.6	49.1	44.6	42.9	39.3	33.9

※独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く

※「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」、「満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の更なる費用の軽減」は新規項目

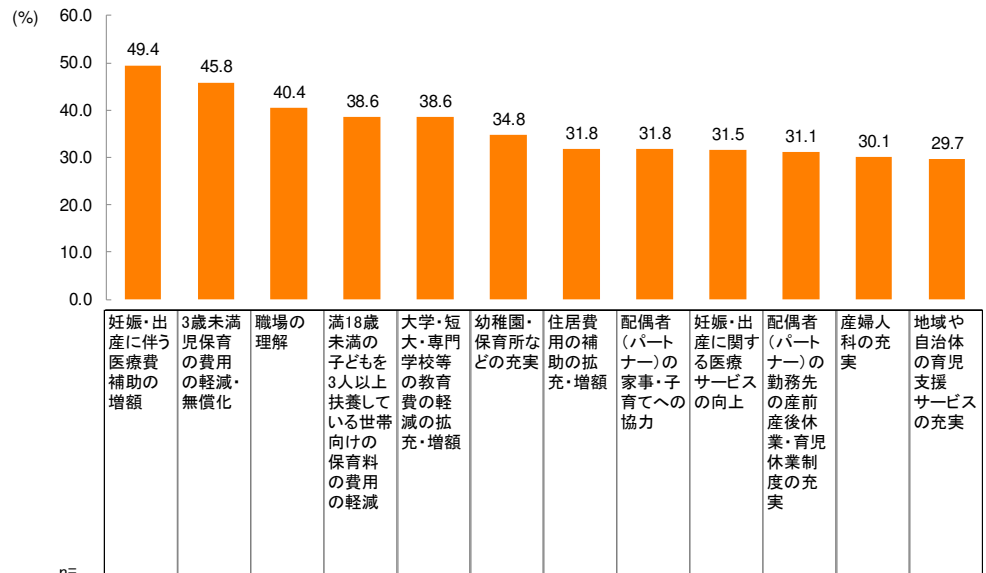
(前表のつづき)



既婚者の場合、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(49.4%)が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(45.8%)、「職場の理解」(40.4%)と続く。

性・年代別にみると、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」、「幼稚園・保育所などの充実」は女性10・20代、30代で高い。「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」、「産婦人科の充実」は女性30代、40代が高くなっている。

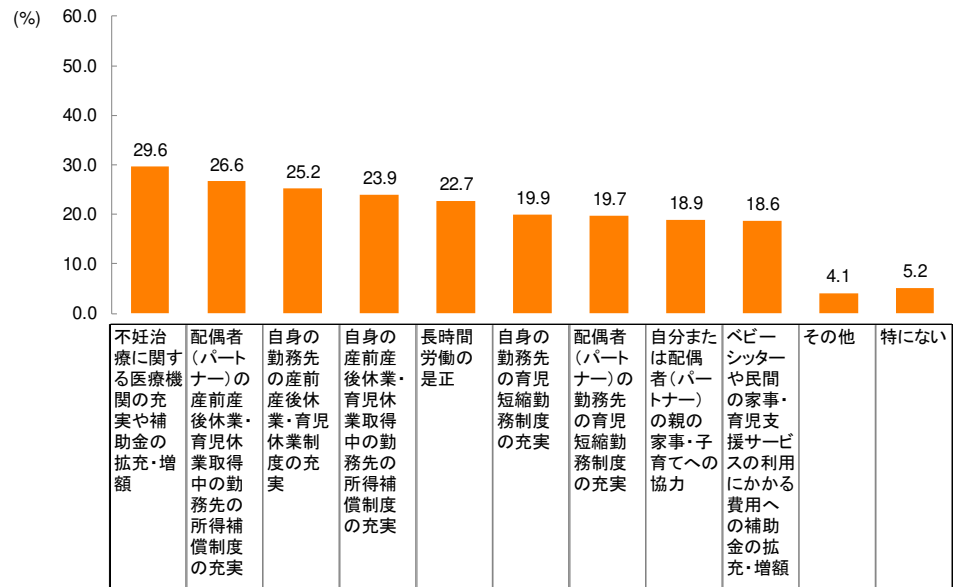
<既婚者の場合>



		n=	49.4	45.8	40.4	38.6	38.6	34.8	31.8	31.8	31.5	31.1	30.1	29.7
	TOTAL	710	49.4	45.8	40.4	38.6	38.6	34.8	31.8	31.8	31.5	31.1	30.1	29.7
*性別×年代	■男性 計	335	47.5	43.9	34.6	42.7	34.6	30.7	33.1	20.0	29.0	29.3	21.8	26.9
	10・20代	11	54.5	36.4	54.5	36.4	45.5	27.3	36.4	18.2	18.2	27.3	27.3	18.2
	30代	88	53.4	58.0	44.3	48.9	39.8	35.2	51.1	19.3	26.1	28.4	19.3	21.6
	40代	236	44.9	39.0	30.1	40.7	32.2	29.2	26.3	20.3	30.5	29.7	22.5	29.2
	■女性 計	375	51.2	47.5	45.6	34.9	42.1	38.4	30.7	42.4	33.9	32.8	37.6	32.3
	10・20代	44	68.2	65.9	40.9	47.7	47.7	50.0	40.9	38.6	38.6	52.3	31.8	38.6
	30代	135	60.0	61.5	47.4	39.3	43.7	43.7	37.8	43.7	41.5	35.6	40.0	34.1
	40代	196	41.3	33.7	45.4	29.1	39.8	32.1	23.5	42.3	27.6	26.5	37.2	29.6

※ 「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」、「満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の更なる費用の軽減」は新規項目

(前表のつづき)

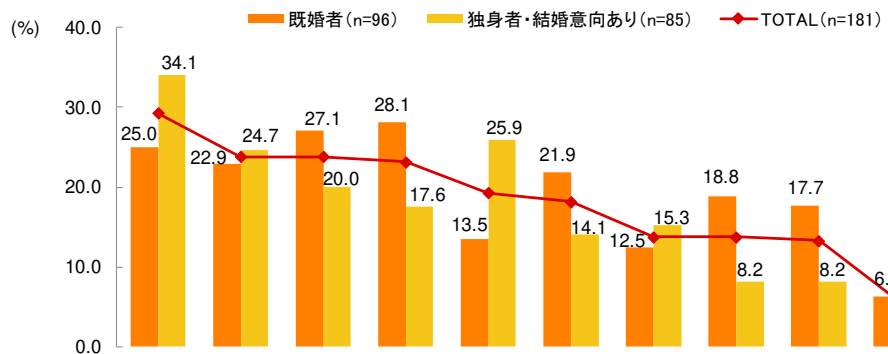


		n=	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の拡充・増額	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	長時間労働の是正	自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額	その他	特にない
TOTAL		710	29.6	26.6	25.2	23.9	22.7	19.9	19.7	18.9	18.6	4.1	5.2
*性別×年代	■男性 計	335	23.6	24.2	26.0	24.8	25.4	17.9	17.9	14.9	14.3	2.4	4.8
	10・20代	11	27.3	18.2	18.2	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2	18.2	0.0	9.1
	30代	88	20.5	19.3	28.4	27.3	34.1	21.6	14.8	10.2	15.9	3.4	5.7
	40代	236	24.6	26.3	25.4	23.7	22.0	16.1	19.1	16.5	13.6	2.1	4.2
	■女性 計	375	34.9	28.8	24.5	23.2	20.3	21.6	21.3	22.4	22.4	5.6	5.6
	10・20代	44	25.0	45.5	27.3	25.0	34.1	18.2	22.7	25.0	29.5	6.8	2.3
	30代	135	35.6	30.4	25.2	27.4	20.7	25.2	22.2	21.5	25.9	4.4	4.4
	40代	196	36.7	24.0	23.5	19.9	16.8	19.9	20.4	22.4	18.4	6.1	7.1

問16 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。
 (回答はいくつでも) 【問13で「理想の子どもの数」を0人と回答した者】

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「子育てができるか自信がないから」(29.3%)が最も高い。次いで、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(ともに23.8%)、「健康面・体調面から」(23.2%)と続く。

婚姻状況・年代別にみると、10-30代独身者は「責任が重いと感ずるから」(33.3%)が高くなっている。

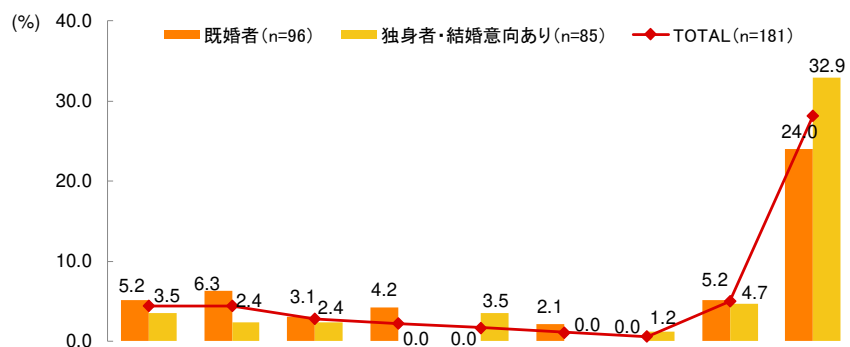


婚姻状況 × 年代 (2区分)	n=	理由										
		子育てができる自信がないから	子育てや教育にお金がかかりそうだから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面から	責任が重いと感ずるから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	子どもがいる生活が想像できないから	自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	
TOTAL	181	29.3	23.8	23.8	23.2	19.3	18.2	13.8	13.8	13.3	5.5	
10-30代	79	36.7	25.3	8.9	22.8	30.4	19.0	22.8	16.5	19.0	7.6	
40代	102	23.5	22.5	35.3	23.5	10.8	17.6	6.9	11.8	8.8	3.9	
■既婚者 計	96	25.0	22.9	27.1	28.1	13.5	21.9	12.5	18.8	17.7	6.3	
10-30代	28	32.1	28.6	10.7	35.7	25.0	25.0	28.6	25.0	32.1	10.7	
40代	68	22.1	20.6	33.8	25.0	8.8	20.6	5.9	16.2	11.8	4.4	
■独身者・結婚意向あり 計	85	34.1	24.7	20.0	17.6	25.9	14.1	15.3	8.2	8.2	4.7	
10-30代	51	39.2	23.5	7.8	15.7	33.3	15.7	19.6	11.8	11.8	5.9	
40代	34	26.5	26.5	38.2	20.6	14.7	11.8	8.8	2.9	2.9	2.9	

※グラフはTOTALの順でソート

※「子育てができる自信がないから」は新規項目

(前表のつづき)



		n=	自分の仕事(勤め)や家業に差し支えるから	配偶者(パートナー)が子どもを望まないから	家が狭いから	家族の家事・育児への協力が得られないから	親の介護が心配だから	職場の協力や理解が得られないから	保育サービスが充実していないから	その他	特になし
TOTAL		181	4.4	4.4	2.8	2.2	1.7	1.1	0.6	5.0	28.2
* 婚姻状況 × 年代(2区分)	10-30代	79	7.6	5.1	5.1	2.5	2.5	1.3	1.3	3.8	31.6
	40代	102	2.0	3.9	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	5.9	25.5
	■既婚者 計	96	5.2	6.3	3.1	4.2	0.0	2.1	0.0	5.2	24.0
	10-30代	28	14.3	10.7	7.1	7.1	0.0	3.6	0.0	3.6	25.0
	40代	68	1.5	4.4	1.5	2.9	0.0	1.5	0.0	5.9	23.5
	■独身者・結婚意向あり 計	85	3.5	2.4	2.4	0.0	3.5	0.0	1.2	4.7	32.9
	10-30代	51	3.9	2.0	3.9	0.0	3.9	0.0	2.0	3.9	35.3
	40代	34	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	5.9	29.4

問17 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。
 （回答はそれぞれ1つ） 【回答者：子どもが1人以上いる者】

男親の親と同居していた者は1割を超えており（父親：12.1%、母親：13.6%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：34.2%、母親：35.9%）。

女親の親と同居していた者は約1割（父親：9.6%、母親：10.3%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：32.7%、母親：34.8%）。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いなかった ■わからない

	n=	(%)				
男親の父親	1528	12.1	34.2	32.5	20.3	0.9
男親の母親	1528	13.6	35.9	35.7	13.5	1.2
女親の父親	1528	9.6	32.7	38.9	17.9	1.0
女親の母親	1528	10.3	34.8	42.6	11.5	0.8

問18 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）
 【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は16.0%で、8割強は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が31.6%であり、女親の父親と似た傾向を示している。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が4割強（44.0%）となっている。

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	(%)			
男親の父親	1204	44.0	37.4	10.8	7.8
男親の母親	1302	31.6	40.9	15.4	12.1
女親の父親	1239	30.3	42.5	16.8	10.4
女親の母親	1341	16.0	35.0	29.6	19.5

※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

同居の場合、女親の母親からの手助けは 57.0%が、男親の母親からの手助けは 41.3%が「日常的にあった」としている。

別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けは 36.8%が「ひんぱんにあった」としている。また、男親の父親からの手助けは 43.8%、男親の母親からの手助けは 47.3%、女親の父親からの手助けは 43.5%が「ときどきあった」としている。

① 同居

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n= (%)			
男親の父親	185	27.6	36.2	11.4	24.9
男親の母親	208	14.4	23.6	20.7	41.3
女親の父親	146	25.3	26.7	21.2	26.7
女親の母親	158	7.0	12.0	24.1	57.0

② 別居（近居）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n= (%)			
男親の父親	523	34.4	43.8	14.1	7.6
男親の母親	548	20.3	47.3	20.8	11.7
女親の父親	499	20.6	43.5	22.4	13.4
女親の母親	532	7.7	30.8	36.8	24.6

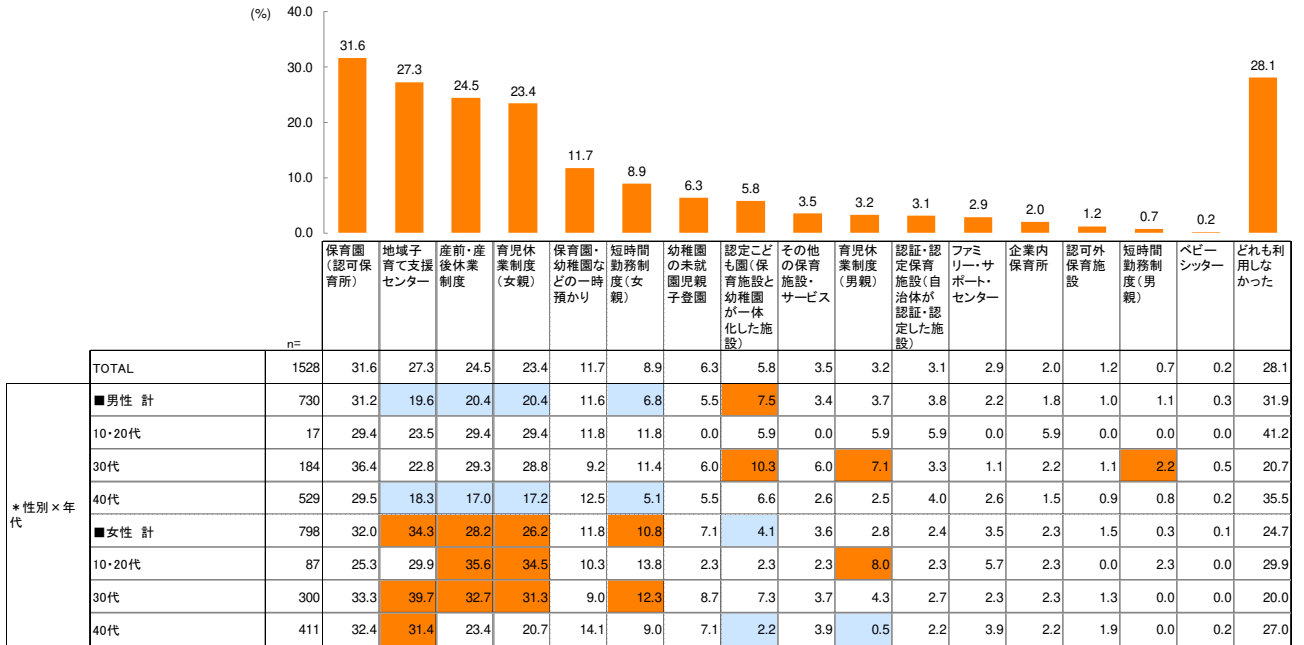
③ 別居（近居以外）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

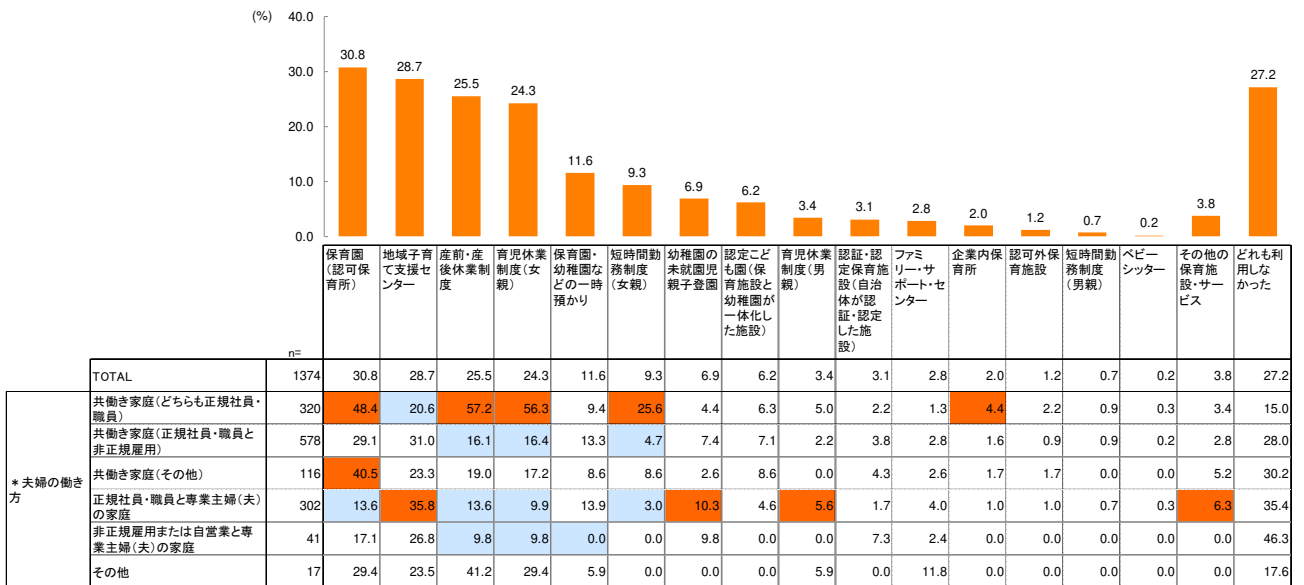
	n=	n= (%)			
男親の父親	496	60.3	31.0	7.1	1.6
男親の母親	546	49.5	41.0	8.1	1.5
女親の父親	594	39.7	45.5	10.9	3.9
女親の母親	651	24.9	43.9	25.0	6.1

問19 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」(31.6%)が最も高い。次いで、「地域子育て支援センター」(27.3%)、「産前・産後休業制度」(24.5%)と続く。また、「育児休業制度（女親）」は23.4%となっているが、「育児休業制度（男親）」は3.2%にとどまっている。



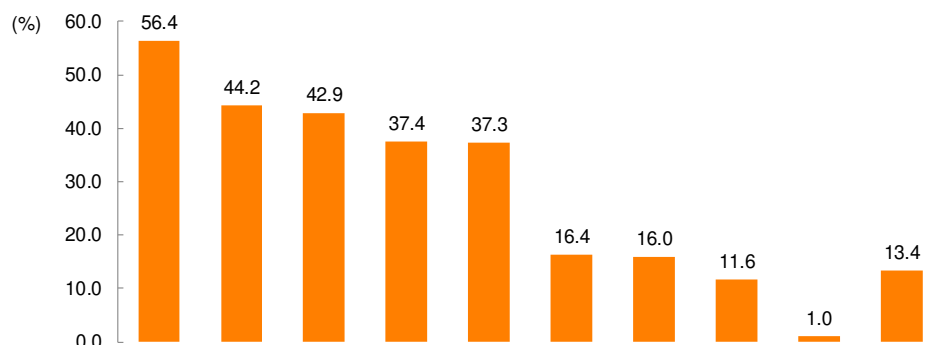
夫婦の働き方別にみると、共働き家庭(どちらも正規社員・職員)では、「産前・産後休業制度」(57.2%)のほか、「育児休業制度（女親）」(56.3%)、「保育園（認可保育所）」(48.4%)が高い。



問20 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。（回答はいくつでも）
【回答者：子どもが1人以上いる者】

家庭内で未就学児の子育てをするときに必要な支援は、「子どもを安心して遊ばせることができる施設」(56.4%)が最も高い。次いで、「事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援」(44.2%)、「短時間でも子どもを預かってもらえる支援」(42.9%)と続く。

性・年代別にみると、女性10代～30代で「子どもを安心して遊ばせることができる施設」、「理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援」がほかの性・年代に比べて高くなっている。



		n=	子どもを安心して遊ばせることができる施設	事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援	短時間でも子どもを預かってもらえる支援	子育てについて気軽に相談できる身近な場所	理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援	家事を代わりに行ってもらえる支援	自宅に居ながら気軽に相談できる支援(自宅訪問型等)	自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援	その他	特になし
TOTAL		1528	56.4	44.2	42.9	37.4	37.3	16.4	16.0	11.6	1.0	13.4
*性別×年代	■男性 計	730	51.5	38.1	35.1	32.2	30.3	14.2	12.6	9.3	0.7	17.3
	10・20代	17	64.7	29.4	23.5	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4
	30代	184	58.7	42.4	38.0	31.5	31.0	15.8	10.9	8.7	0.5	12.5
	40代	529	48.6	36.9	34.4	32.7	30.6	14.2	13.6	9.8	0.8	18.5
	■女性 計	798	60.9	49.9	50.0	42.1	43.7	18.4	19.2	13.8	1.3	9.9
	10・20代	87	71.3	48.3	48.3	41.4	49.4	17.2	20.7	13.8	0.0	13.8
	30代	300	67.7	51.7	52.0	44.0	46.0	20.0	21.0	15.0	1.7	7.7
	40代	411	53.8	48.9	48.9	40.9	40.9	17.5	17.5	12.9	1.2	10.7

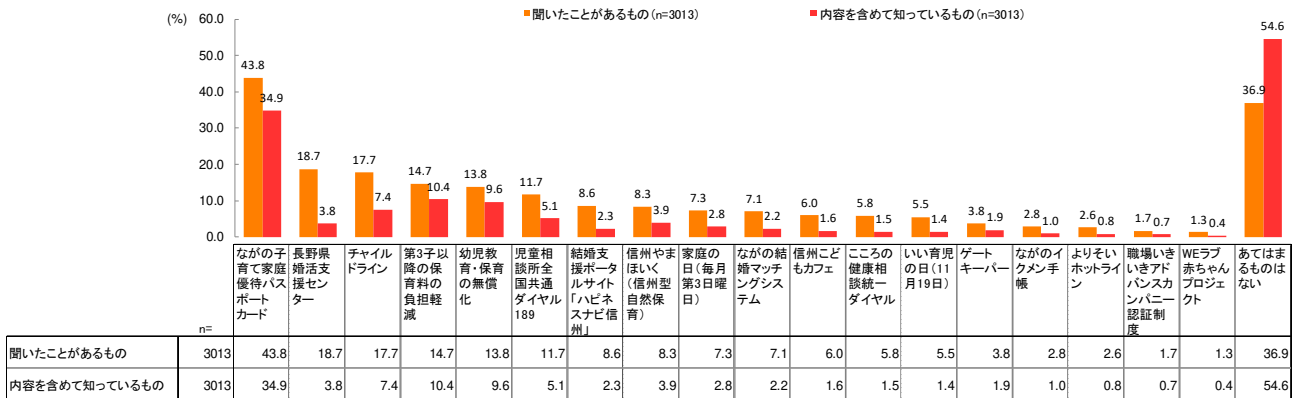
※新規設問

問21 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポートカード」(43.8%)が最も高い。次いで、「長野県婚活支援センター」(18.7%)、「チャイルドライン」(17.7%)と続く。

内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポートカード」(34.9%)が最も高い。

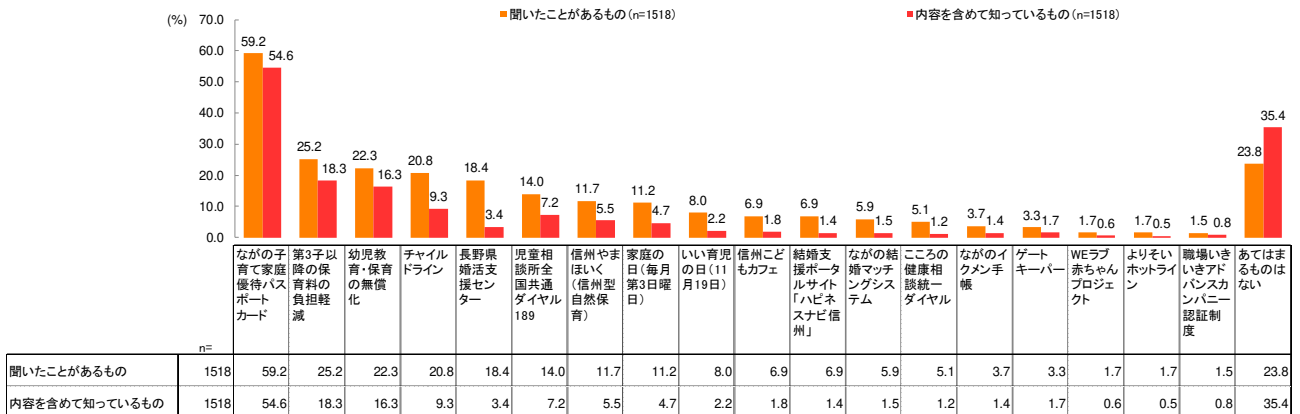
なお、既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる者の「ながの子育て家庭優待パスポートカード」を聞いたことがあるものは59.2%、内容を含めて知っているものは54.6%であった。



※グラフは「聞いたことがある」の順でソート

※「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」、「ながのイクメン手帳」、「第3子以降の保育料の負担軽減」、「幼児教育・保育の無償化」は新規項目

＜既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる者＞



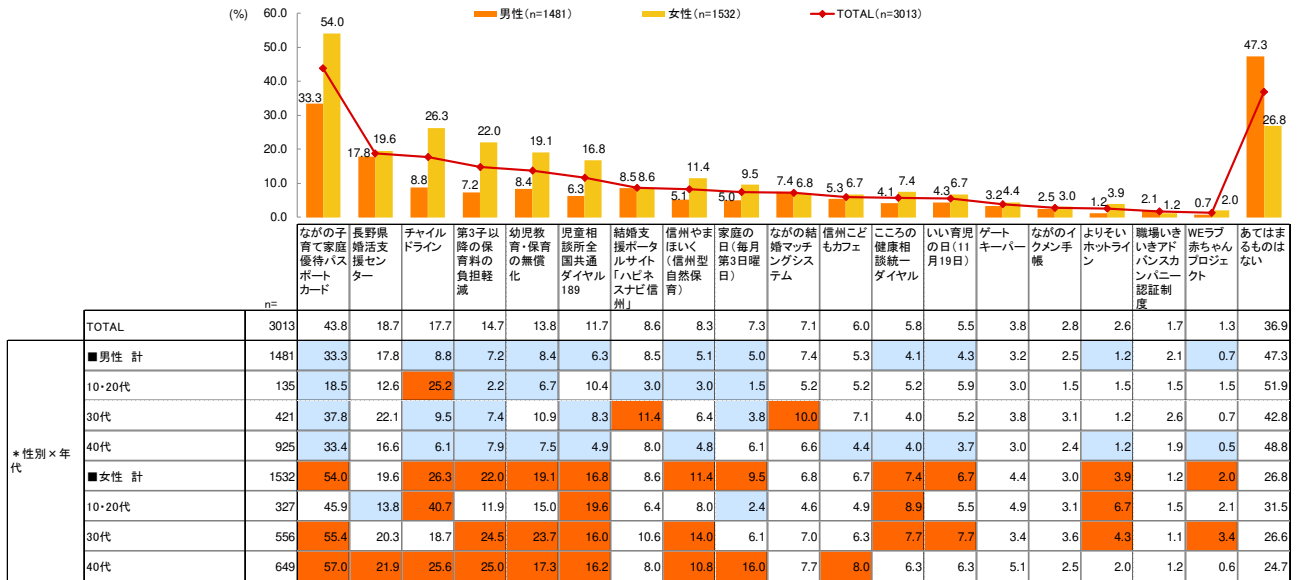
※グラフは「聞いたことがある」の順でソート

※「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」、「ながのイクメン手帳」、「第3子以降の保育料の負担軽減」、「幼児教育・保育の無償化」は新規項目

性・年代別にみると、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、女性は男性よりも割合が高い項目が多い。特に、女性40代では「ながの子育て家庭優待パスポートカード」を内容を含めて知っている割合が、ほかの性・年代よりも高い。

男性10・20代では、他の項目と比べて、「チャイルドライン」を聞いたことがある割合が25.2%と高くなっている。また、男性30代では「結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」」、「ながの結婚マッチングシステム」を聞いたことがある割合がほかの性・年代よりも高い。

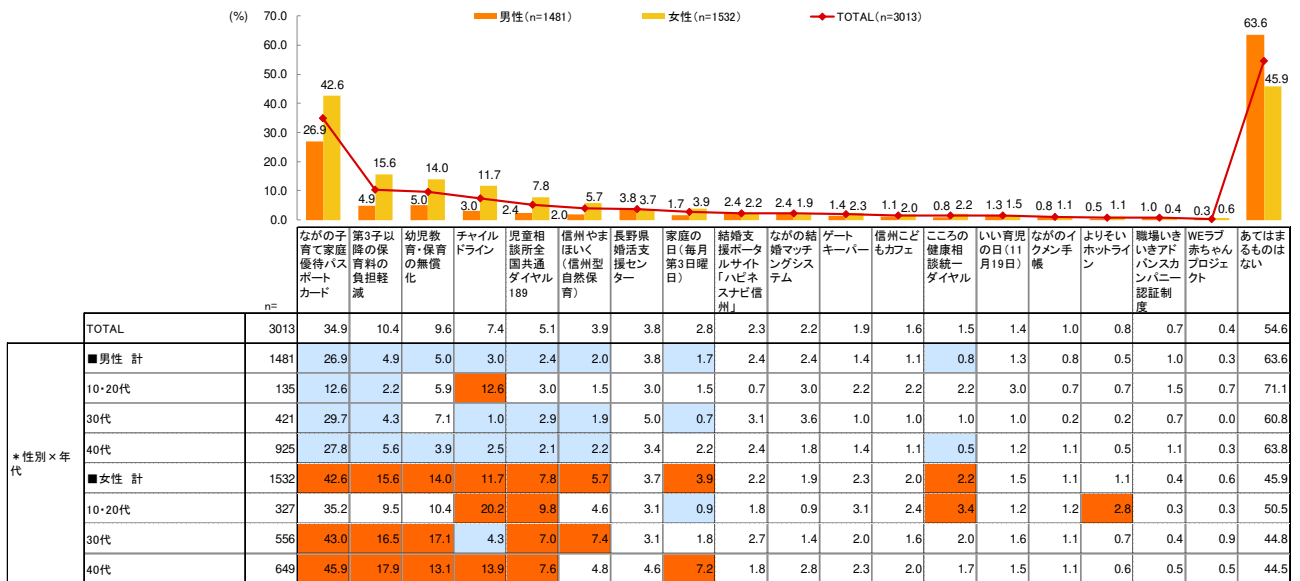
① 聞いたことがあるもの



※グラフはTOTALの順でソート

※「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」、「ながのイクメン手帳」、「第3子以降の保育料の負担軽減」、「幼児教育・保育の無償化」は新規項目

② 内容を含めて知っているもの

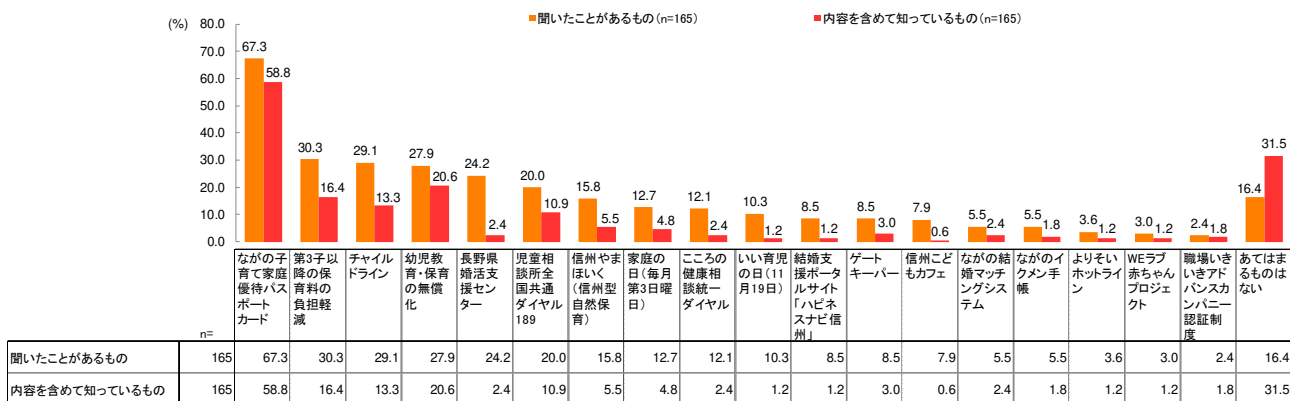


※グラフはTOTALの順でソート

※「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」、「ながのイクメン手帳」、「第3子以降の保育料の負担軽減」、「幼児教育・保育の無償化」は新規項目

問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、「ながの子育て家庭優待パスポートカード」が最も高い。

<問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

※独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く

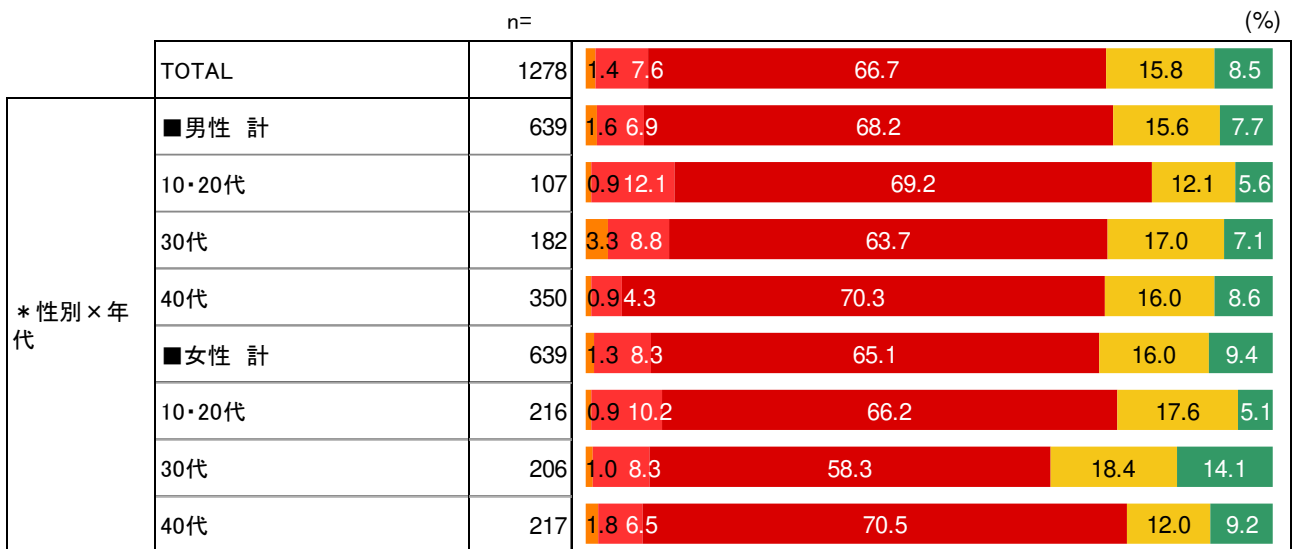
※「職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度」、「ながのイクメン手帳」、「第3子以降の保育料の負担軽減」、「幼児教育・保育の無償化」は新規項目

問22 結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ) 【回答者：独身者】

結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「気持ちに影響はない」(66.7%)が高い。一方、「前向きになった」(1.4%)と「やや前向きになった」(7.6%)を合わせると約1割(9.0%)、「やや後ろ向きになった」(15.8%)と「後ろ向きになった」(8.5%)を合わせると2割強(24.3%)となっている。

性・年代別にみると、女性30代は「やや後ろ向きになった」(18.4%)と「後ろ向きになった」(14.1%)を合わせると3割強(32.5%)となっており、ほかの性・年代より高い。

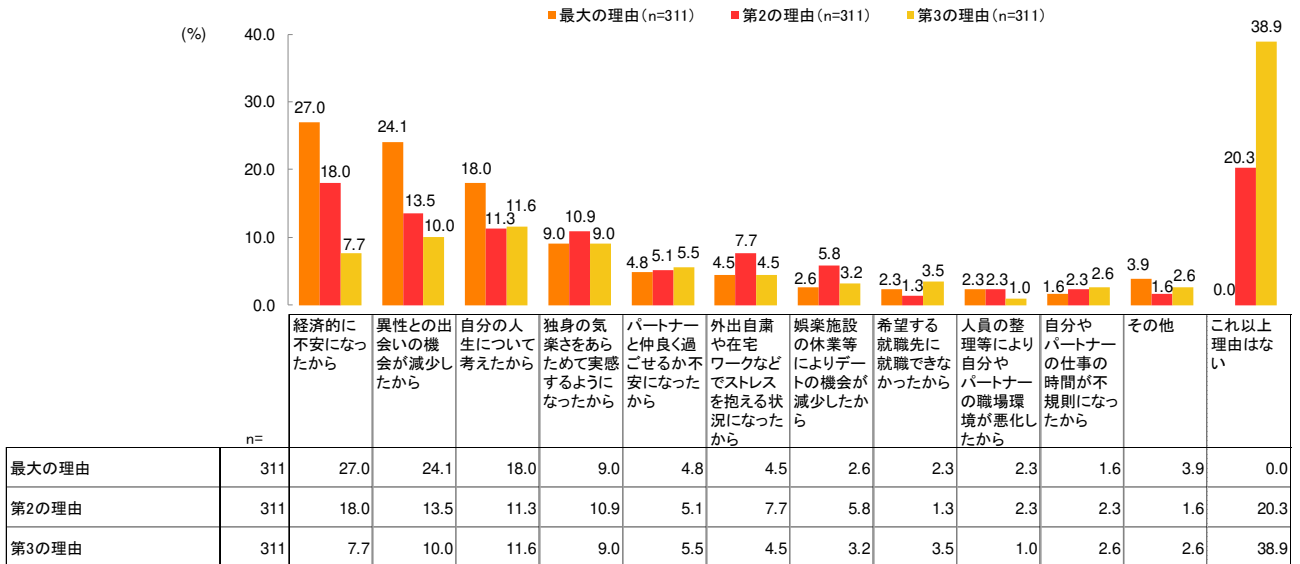
■前向きになった ■やや前向きになった ■気持ちに影響はない ■やや後ろ向きになった ■後ろ向きになった



※新規設問

問23 結婚について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：結婚に後ろ向きになった者】

結婚に対する気持ちに影響を与えた最大の理由としては、「経済的に不安になったから」(27.0%)が最も高い。次いで、「異性との出会いの機会が減少したから」(24.1%)、「自分の人生について考えたから」(18.0%)と続く。第2の理由も同様の順に高くなっている。



※グラフは「最大の理由」の順でソート

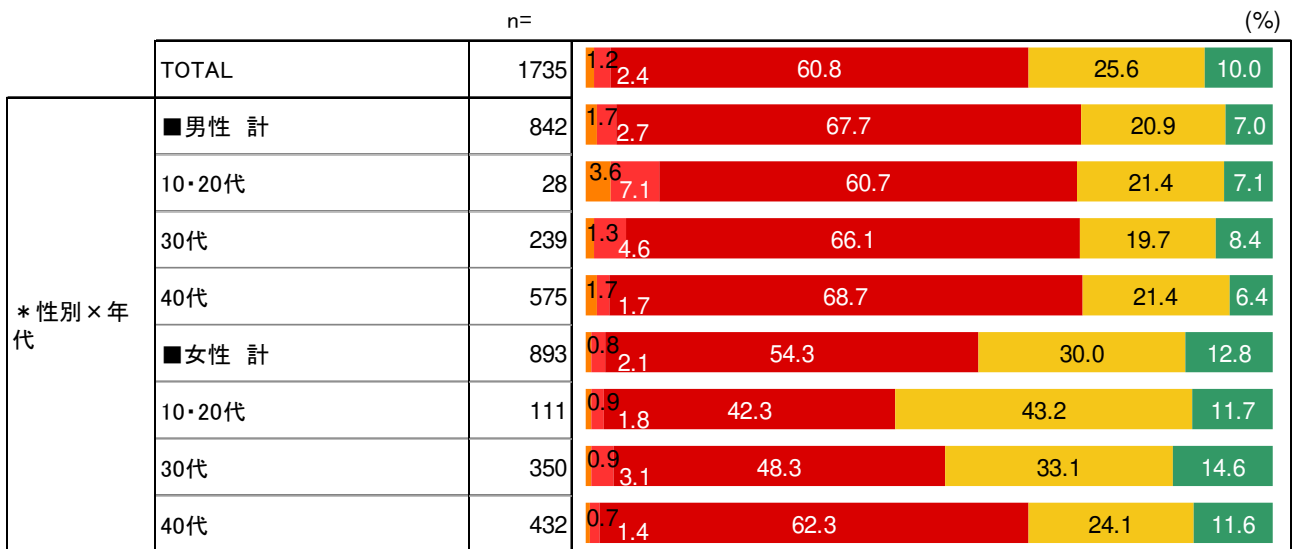
※新規設問

問24 出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ) 【回答者：既婚者】

出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「気持ちに影響はない」(60.8%)が最も高い。一方、「前向きになった」(1.2%)と「やや前向きになった」(2.4%)を合わせると僅か(3.6%)、「やや後ろ向きになった」(25.6%)と「後ろ向きになった」(10.0%)を合わせると4割弱(35.6%)となっている。

性・年代別にみると、男性よりも女性では、「やや後ろ向きになった」、「後ろ向きになった」は、全年代において、男性よりも女性の方が高い。

■前向きになった ■やや前向きになった ■気持ちに影響はない ■やや後ろ向きになった ■後ろ向きになった

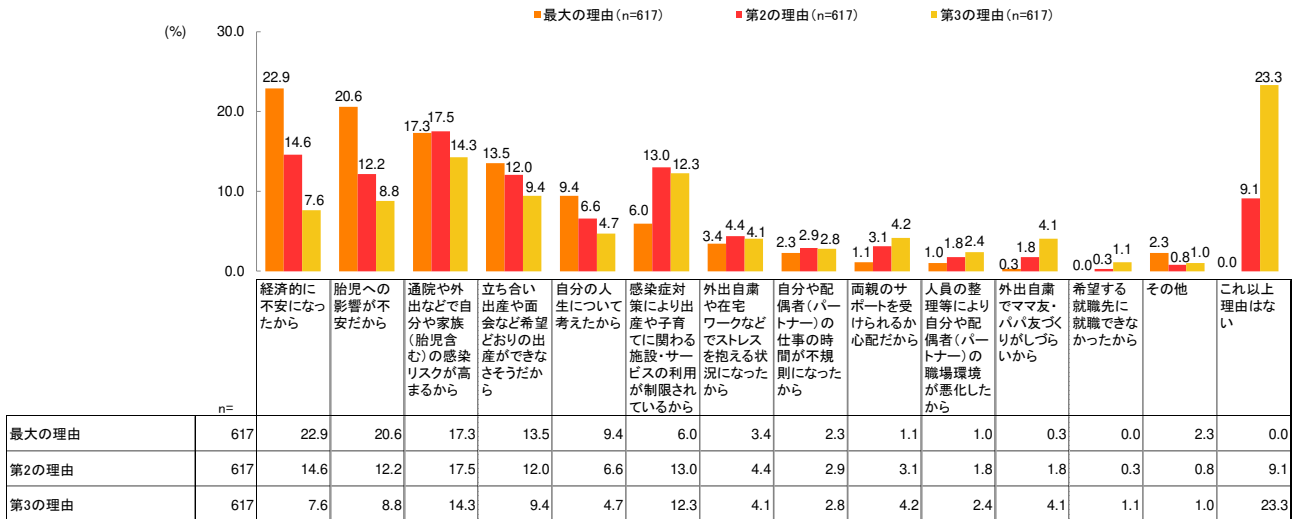


※新規設問

問25 出産について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：出産に後ろ向きになった者】

出産に対する気持ちに影響を与えた最大の理由としては、「経済的に不安になったから」(22.9%)が最も高い。次いで、「胎児への影響が不安だから」(20.6%)、「通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから」(17.3%)と続く。

第2の理由としては、「通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから」(17.5%)が最も高い。次いで、「経済的に不安になったから」(14.6%)、「感染症対策により出産や子育てに関わる施設・サービスの利用が制限されているから」(13.0%)と続く。



※グラフは「最大の理由」の順でソート

※新規設問

問26 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

【相談・情報に関すること】

- ・ 近くに相談出来る人がいないので、気軽に何でも相談出来る窓口や子供を預けやすい施設等の情報が欲しい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 父子家庭、専門の相談場所や窓口（役所以外）。地方では役所機関が地元民なので、情報漏洩や噂が立つので安心して相談出来ない。（男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 補助を受けられるものについてパンフレットにまとめるなど、情報を分かりやすく発信してほしい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 今のサービスは基本的に出産した人向けがあるだけに感じる。これからは出産を考えている人向けに、出産後どのような公共援助があるか知らせる場を作って欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 支援制度について、知らない人でもわかるよう、情報発信をもっとして頂ければ嬉しいです。ホームページのどこをみれば、わかるなどがあればより嬉しいです。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）

【施設や設備に関すること】

- ・ 保育園での急な体調不良の連絡があっても仕事から抜けられず、そういった時に一時的に預かってくれる施設があればありがたい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 廃校を利用して子どもが遊べる施設ができると良いと思う。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子育て支援センターに有料で短時間託児できるサービスが欲しい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 未満児を保育できる保育園を増やして欲しいです。枠がなくて入れなくてとても困っている。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供が遊べる室内公園（雨天の時に遊べる場所）の拡充をして欲しい。（男性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）

【結婚支援全般に関すること】

- ・ 県内もしくは地元でもっと身近に利用できる婚活サイトがあればいい。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ すべてにおいて、支援・相談が女性に向けたものばかりなので、男性向け支援・相談を女性向けと同じくらいにまで充実する必要がある。街コン、婚活パーティー等、男女のことになる、男性ばかり会費等、費用が高額なのはありえない。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 無料で気軽に参加できる婚活イベントを行なってほしい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 年齢に関係なく収入に応じて、結婚祝金や住宅支援など、手厚い補助があれば、少しは前向きになれる。（男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 結婚に踏み切れない一番の理由が経済的なものであるため、結婚、出産、育児において包括的な経済的支援が欲しい。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

- ・ 年齢制限で婚活イベントに参加出来ません。幅広いイベントを回数多く企画して欲しいです。
(男性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)

【出産支援全般に関すること】

- ・ 不妊治療休暇が取りやすい環境を整えてほしい。仕事の多忙化を何とかして欲しい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 不妊治療助成を充実させてほしい。(男性 30 代、既婚者、子どもはいない)
- ・ 第〇子以降にお祝い金のようなものがあれば産みやすい。保育園がもう少し入りやすければ働いているお母さんでも産みやすい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ コロナ禍で親族の助けが得られない中、産後ケア事業を利用できたのは良かったが、費用負担額をもう少し軽減してほしい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 子供を産む際、仕事を辞めてしまっても経済的な心配がなくなるような制度を作って欲しい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 少子高齢化なので、子供の出産にもっと力を入れて欲しい。出産費用がかかりすぎ。費用面で支援するべき。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)

【若者支援全般に関すること】

- ・ 独身者への優遇が少なすぎる。(女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・ 大学進学について、県外への進学率が高いので、住宅、移動費など、経済的支援の拡充が必要であると思います。結果的に、長野県への就職率アップにも繋がると思う。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 居住する夫婦やカップルに対して補助金を出したり、補助金の年収ラインをもっと下げるべき。(女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 若者の税金を安くしてほしいです。住民税負担が大きすぎます。(女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)

【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・ 育休の有給期間を 3 年にして欲しい。障害を持った子の預かりを生涯にわたってしてもらえる制度が欲しい。母親が仕事を辞めざるを得ないのはおかしい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 職場の産育休制度に疑問を感じる。育休は最大 3 年取れるはずなのに基本的には正当な理由がない限り 1 年しか取れない。こどもの成長を見守りたいし、すぐに発熱するような時期に職場復帰してもなかなかフルタイムで働けないのに矛盾していると思う。もっと自由度のある産育休制度になるように行政から働きかけて欲しい。(女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 少子化を抑制するためにも、専業主婦を貶(おとし)めるような現在の男女平等の風潮を抑えるべきと思う。主婦になりたい人の意見も尊重し、働く上での差別は撤廃するように。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 子供が小さいと働ける業種が少なく、希望の仕事が出来ない。もっと小さい子どもがいても子育てと仕事を両立できるような働き方(休みや時間)を増やして欲しい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 女性も正社員として働ける所を増やしてほしい。そうすれば収入も安定して今よりはお金の心配がなくなる。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 男性の働き方、育休配慮。(男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)

【子育て支援全般に関すること】

- ・ 年齢を考えると子どもの教育費用の補助がほしい。高校大学と、先のことを考えると3人目以降を躊躇する。(男性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 医療費の軽減を高校卒業まで延長してほしいです。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 第二子保育料全世帯半額。保育料高ければ仕事復帰する意味がない。(女性30代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 発達障がい児を養育する為の支援(金銭面も含む)の手助けになるような制度や施設の充実。(女性40代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる)
- ・ 素晴らしい「子育てパスポート」という制度があるのに、自分の使うお店は対象でない、もしくは現金でないで割引にならないのでなかなか使えず、とても残念。スーパーやドラッグストアで使えると良い。もしくは対象店でカードを見せるとアメ1つもらえるだけで、子どもを連れて行きやすく、嬉しいサービスです。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 給食費を無償化してほしい。(女性30代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 子育て講習、育児支援金。(男性10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 子育てについて、お店などでの割引やサービスをもっと増やして欲しい。(女性10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもがいる)

【その他】

- ・ 各市町村によって違いが多すぎる。自分の住んでいる市より子育てに関しては進んでいる市町村がいっぱいあると思う。県で統一して欲しい。(男性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 子供を産み育てたい社会とは何かを、現役子育て世代、次世代の子供たちに継続的にヒアリングしニーズに合ったサービスの構築を早急にしてほしい。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 保育士、幼稚園教諭の給料をあげ、さらに人数を増やしてほしい。(女性40代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 夏休み期間中、どこにも子どもを連れて出かけられないので、身近でイベントを多く開催してほしい。(女性30代、既婚者、子どもがいる)
- ・ 既婚、未婚、子あり、子なし、いずれかが過度に優遇されたり負担が生じる制度はやめて欲しい。(女性30代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・ 年齢問わず、経済面の支援をしてほしい。(男性40代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない)
- ・ 婚姻届(入籍)だけが、全てではないと思っています。結婚していないと人として、ダメと扱われたり、経済支援を受けられないとかも改善して欲しい。若者、シングルファザー、マザーではないからと経済支援がないのも改善して欲しい。自分は家族、身内の介護で30年以上経ち、婚姻どころではありませんでした。以前よりは介護支援は充実していますが、自分の様な人も居ると分かって欲しい。(女性40代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・ 父親が育児をすることを特別視しない社会づくり。(女性40代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない)
- ・ 不登校、ひきこもりなど、つながりが失われがちな人に対する支援の強化をお願いしたいです。(女性40代、既婚者、子どもがいる)

附属資料(調査票)

本調査

長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

6月1日時点の状況でお答えください。

共通パート

Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性

2 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

歳

Q3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

- | | | |
|----|---------|---|
| 1 | <佐久地域> | 小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町 |
| 2 | <上小地域> | 上田市、東御市、長和町、青木村 |
| 3 | <諏訪地域> | 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村 |
| 4 | <上伊那地域> | 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村 |
| 5 | <飯伊地域> | 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村 |
| 6 | <木曾地域> | 上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村 |
| 7 | <松本地域> | 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村 |
| 8 | <大北地域> | 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村 |
| 9 | <長野地域> | 長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村 |
| 10 | <北信地域> | 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村 |
| 11 | この中にはない | |

Q4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

1 現在、結婚(事実婚を含む)している

3 結婚したことはない

2 結婚していたが、現在は離・死別した

独身者パート <Q4で2、3と回答した人に>

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | すでに結婚する予定がある | 4 | いずれは結婚したい |
| 2 | すぐにでも結婚したい | 5 | 結婚するつもりはない |
| 3 | 2・3年以内に結婚したい | 6 | わからない |

Q6 (Q5で1～4と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------|
| 1 | お金を自由に使えるか |
| 2 | 職業を自由に選べるか |
| 3 | 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか |
| 4 | 余暇や遊びの時間を自由に取れるか |
| 5 | 住む場所が制約されないか |
| 6 | 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか |
| 7 | ファッションや食べ物などの好み制約されないか |
| 8 | 相手の両親とうまく付き合えるか |
| 9 | 自由な人生設計ができるか |
| 10 | 自分に子育てができるか |
| 11 | 結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか |
| 12 | その他 具体的に:() |
| 13 | 特に気になることはない |

Q7 (Q5で2～5と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
(2) 第2の理由
(3) 第3の理由

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 結婚するにはまだ若すぎるから |
| 2 | 結婚する必要性を感じないから |
| 3 | 仕事(または学業)に打ち込みたいから |
| 4 | 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから |
| 5 | 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 6 | 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 7 | 適当な相手にまだめぐり会わないから |
| 8 | 異性とうまく付き合えないから |
| 9 | 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない |
| 10 | 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 11 | 子育てする自信がないから |
| 12 | 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 13 | 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから |
| 14 | 名字を変えたくないから |
| 15 | そもそも結婚願望がないから |
| 16 | 今の生活で充分幸せだから |
| 17 | 家族を養う責任を負いたくないから |
| 18 | その他 具体的に:() |
| 19 | これ以上理由はない |

Q8 (Q7で7と回答した人に)

「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

- 1 そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない
- 2 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない
- 3 結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう
- 4 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
- 5 そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない
- 6 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
- 7 その他 具体的に：()
- 8 答えたくない

Q9 (Q5で2~4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- 1 友人、職場の同僚や先輩に頼む
- 2 合コンに参加する
- 3 インターネットサイト・SNSを活用する
- 4 婚活パーティーに参加する
- 5 趣味のサークルに入る
- 6 お見合いをする
- 7 民間の結婚相談所に登録する
- 8 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する
- 9 その他 具体的に：()
- 10 特に行っていない・行う予定はない

Q10 (Q9で10と回答した人に)

婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

- 1 忙しくて時間がないから
- 2 自然な流れで出会いたいから
- 3 交際相手がいるから
- 4 面倒だから
- 5 そこまでする必要を感じないから
- 6 具体的に何をすればよいかわからないから
- 7 婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから
- 8 婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから
- 9 婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから
- 10 婚活サービスは参加料金が安いから
- 11 婚活サービスは日程が合わないから
- 12 その他 具体的に：()
- 13 答えたくない

既婚者パート <Q4で1と回答した人に>

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。（回答は1つ）

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトやSNSで
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：()
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

共通パート

【すべての方にうかがいます。】

Q12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：()
4 自営業主・家族従業員	

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

※0人の場合は「0」を入力してください。

(1) 現在の子どもの数 人

※妊娠中の子は含めない

(2) 理想の子どもの数 人

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に欲しい子どもの数（今いる子や妊娠中の子を含む）

(3) 実際に持つつもり（予定）の子どもの数 人

※今いる子や妊娠中の子を含む

【Q13で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q14 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。（回答はいくつでも）

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 2 家が狭いから
- 3 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
- 4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 6 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から
- 7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 8 健康面・体調面の理由から
- 9 家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから
- 10 家族（パートナー）が望まないから
- 11 自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから
- 12 その他 具体的に：（ ）
- 13 特に理由はない

【Q13で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q15 長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。（回答はいくつでも）

※長野県の独自施策として、特定不妊治療に要する医療保険が適用されない治療への一部助成、兄弟姉妹の同時入所を要件としない第3子以降の保育料の負担軽減などを実施しています。

- 1 妊娠・出産に伴う医療費補助の増額
- 2 妊娠・出産に関する医療サービスの向上
- 3 産婦人科の充実
- 4 不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の拡充・増額
- 5 幼稚園・保育所などの充実
- 6 3歳未満児保育の費用の軽減・無償化
- 7 満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減
- 8 地域や自治体の育児支援サービスの充実
- 9 ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額
- 10 大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額
- 11 住居費用の補助の拡充・増額
- 12 自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実
- 13 自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実
- 14 自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実
- 15 配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力
- 16 自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力
- 17 配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実
- 18 配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実
- 19 配偶者（パートナー）の勤務先の育児短縮勤務制度の充実
- 20 職場の理解
- 21 長時間労働の是正
- 22 その他 具体的に：（ ）
- 23 特にない

【Q13で、「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。】

Q16 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 子育てができる自信がないから |
| 2 | 責任が重いとを感じるから |
| 3 | 子育てや教育にお金がかかりそうだから |
| 4 | 保育サービスが充実していそうにないから |
| 5 | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 6 | 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから |
| 7 | 職場の協力や理解が得られそうにないから |
| 8 | 子どもがいる生活が想像できないから |
| 9 | 自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから |
| 10 | 配偶者(パートナー)が子どもを望まないから |
| 11 | 家が狭いから |
| 12 | 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから |
| 13 | 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から |
| 14 | 健康面・体調面の理由から |
| 15 | 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |
| 16 | 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから |
| 17 | 親の介護が心配だから |
| 18 | その他 具体的に：() |
| 19 | 特に理由はない |

【お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。】

Q17 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親と同居していましたか。(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居(近居)	別居(近居以外)	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の父親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q18 (Q17で1～3と回答した人に)

お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者(パートナー)の父親	1	2	3	4
配偶者(パートナー)の母親	1	2	3	4

Q19 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

- 1 産前・産後休業制度
- 2 育児休業制度（男親）
- 3 育児休業制度（女親）
- 4 短時間勤務制度（男親）
- 5 短時間勤務制度（女親）
- 6 保育園（認可保育所）
- 7 認証・認定保育施設（自治体が認証・認定した施設）
- 8 認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
- 9 企業内保育所
- 10 認可外保育施設
- 11 ベビーシッター
- 12 ファミリー・サポート・センター
- 13 保育園・幼稚園などの一時預かり
- 14 地域子育て支援センター
- 15 幼稚園の未就園児親子登園
- 16 その他の保育施設・サービス
- 17 どれも利用しなかった

Q20 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。

- 1 事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援
- 2 理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援
- 3 自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援
- 4 短時間でも子どもを預かってもらえる支援
- 5 家事を代わりに行ってもらえる支援
- 6 自宅に居ながら気軽に相談できる支援（自宅訪問型等）
- 7 子育てについて気軽に相談できる身近な場所
- 8 子どもを安心して遊ばせることができる施設
- 9 その他 具体的に：()
- 10 特にない

【すべての方にうかがいます。】

Q21 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

- (1) 聞いたことがあるもの
- (2) 内容も含めて知っているもの

1 長野県婚活支援センター	11 児童相談所全国共通ダイヤル 189
2 結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」	12 家庭の日 (毎月第3日曜日)
3 ながの結婚マッチングシステム	13 いい育児の日 (11月19日)
4 ながの子育て家庭優待パスポート	14 WE ラブ赤ちゃんプロジェクト
5 職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度	15 幼児教育・保育の無償化
6 ながのイクメン手帳	16 こころの健康相談統一ダイヤル
7 第3子以降の保育料の負担軽減	17 よりそいホットライン
8 信州やまほいく (信州型自然保育)	18 ゲートキーパー
9 信州こどもカフェ	19 あてはまるものはない
10 チャイルドライン	

Q22 (Q4で2、3と回答した人に)

結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1 前向きになった	4 やや後ろ向きになった
2 やや前向きになった	5 後ろ向きになった
3 気持ちに影響はない	

Q23 (Q22で4、5と回答した人に)

結婚について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 異性との出会いの機会が減少したから
2 娯楽施設の休業等によりデートの機会が減少したから
3 希望する就職先に就職できなかったから
4 経済的に不安になったから
5 人員の整理等により自分やパートナーの職場環境が悪化したから
6 自分やパートナーの仕事の時間が不規則になったから
7 独身の気楽さをあらためて実感するようになったから
8 パートナーと仲良く過ごせるか不安になったから
9 外出自粛や在宅ワークなどでストレスを抱える状況になったから
10 自分の人生について考えたから
11 その他 具体的に：()
12 これ以上理由はない

Q24 (Q4で1と回答した人に)

出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。

1 前向きになった	4 やや後ろ向きになった
2 やや前向きになった	5 後ろ向きになった
3 気持ちに影響はない	

Q25 (Q24で4、5と回答した人に)

出産について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 希望する就職先に就職できなかったから
2 経済的に不安になったから
3 人員の整理等により自分や配偶者（パートナー）の職場環境が悪化したから
4 自分や配偶者（パートナー）の仕事の時間が不規則になったから
5 胎児への影響が不安だから
6 通院や外出などで自分や家族（胎児含む）の感染リスクが高まるから
7 立ち合い出産や面会など希望どおりの出産ができなさそうだから
8 感染症対策により出産や子育てに関わる施設・サービスの利用が制限されているから
9 外出自粛や在宅ワークなどでストレスを抱える状況になったから
10 両親のサポートを受けられるか心配だから
11 外出自粛でママ友・パパ友づくりがしづらいから
12 自分の人生について考えたから
13 その他 具体的に：()
14 これ以上理由はない

Q26 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

※日頃の生活を通じて導入して欲しい、更に充実して欲しい、あるいは、力を入れて欲しい制度や取組など（例：近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい、教育費に関する支援制度をもっと情報発信して欲しい など）

※特にない方は、「特になし」とご入力ください。

自由記述

長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査報告書

令和3年9月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス shoushika@pref.nagano.lg.jp